

WILCOMM

アップグレード手順書

Upgrade to Ver.7.15 SP2

UPG003 (Last Update : 2005/08/16)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000,2004
K.I.S.S. Inc.



Upgrade to Ver.7.15 SP2

本解説書は、ウィルコム Ver.7.15 以前から Ver.7.15 SP2 へのアップグレード手順について解説しています。

ソフトウェア要件

iSeries OS/400 Ver.3.7 以上

PC WindowsNT(SP5 以上)
Windows2000
WindowsXP
Windows2003
Microsoft Internet Explorer 5.0 以上(ウィルコムのファックス機能を使用する場合)

<<注意 1>>

Wilcomm のアップグレードを始める前に、すべての Wilcomm 処理が完了している事を確認して、Wilcomm 関連プログラムをすべて終了して下さい。

アップグレードを行いますと、P Cサーバー側のトランザクション・データはクリアされてしまいますので、もし処理中の帳票があった場合、アップグレード後に処理されません。

<<注意 2>>

ウィルコムのファックス機能を使用する場合、お手元にあるファックス制御ソフトの CD ラベル「MESSAGEmanager」のバージョンをご確認ください。

WindowsNT の場合、「MESSAGEmanager Ver.6.2」

Windows2000/XP/2003 の場合、「MESSAGEmanager Ver.6.3」或いは「MESSAGEmanager Ver.7.0」

<<注意 3>>

Wilcomm のファックス機能をお使いの場合、ファックス制御ソフト MESSAGEmanager の Ver.6.x 或いは Ver.7.0 へのアップグレードも行います。MESSAGEmanager は Wilcomm とは別のライセンスキーで起動します。現在お使いの MESSAGEmanager のライセンスキーでは MESSAGEmanager Ver.6.x / Ver.7.0 をお使いいただけない場合がございます。アップグレード作業に入ります前に、(株)ケイ・アイ・エス・エスまでご連絡いただき、MESSAGEmanager Ver.6.x / Ver.7.0 用のライセンスキーを取得していただきますよう、お願いいたします。

ご連絡先：Tel: 03-5408-7681 / FAX: 03-5408-7683 / e-mail: support@kiss21.co.jp

目次

	ページ
1. WilComm iSeries アップグレード作業.....	4
2. WilComm PC アップグレード作業	
Step 1. ウィルコム of フル・バックアップ.....	6
↓	
Step 2. インストール C D のセット.....	6
↓	
Step 3. アップグレード・ユーティリティによるバックアップ.....	7
↓	
Step 4. ウィルコム of アンインストール.....	8
↓	
Step 5. MESSAGEmanager のアンインストール.....	10
↓	
Step 6. Wilcomm Ver.7.15.SP2 のインストール.....	17
↓	
Step 7. Wilcomm の初期設定.....	29
↓	
Step 8. アップグレード・ユーティリティによる設定の復元.....	30
↓	
Step 9. WilComm P T F 適用.....	32
↓	
Step 10. MESSAGEmanager Ver.6.x / Ver.7.0 のインストール.....	36
↓	
Step 11. XEROX DocuWorks のインストール.....	36
3. 補足～WilComm_Start.bat について.....	37

1. WilComm iSeriesアップグレード手順

アップグレードを行うにあたっての留意点

ユーザー側で、WilCommのデータベース(WCPOLL、WILPLEXMSG)を参照するプログラムを開発されている場合には、アップグレードを行う前に修正が必要となります。

詳細につきましては、弊社までお問い合わせ下さい。

WILCOMM PTF 番号 03071001 でAPIのプログラムの仕様変更が行われております。

API機能をご使用のお客様はプログラムの修正が必要となりますので以下の内容をご確認下さい。

WilComm のメニューを表示させてコマンドラインに DSPWILPTF とタイプして実行します。

DSPWILPTF コマンドが存在しない場合、次ページの処理へ進みます。

WILCOMM PTF 番号 に 03071001 以上の番号が表示された場合、次ページの処理へ進みます。

WILCOMM PTF 番号 に 03071001 より小さい番号が表示された場合、以下の作業を行って下さい。

ライブラリーWILPLEXCHG に WCAPI_UPGM というプログラムが存在していないか確認して下さい。

存在しない場合、次ページの処理へ進みます。

もし存在している場合にはプログラム WCAPI_UPGM へ以下の修正が必要です。

&RTN_ARCH というパラメータを末尾に追加します。

```
PGM          PARM(&SF_FILE &SF_SPLNBR &SF_JOB &SF_USER +  
              &SF_NBR &SF_TEXT &#FORMN &#USERD &LIB +  
              &FILE &RTN_CODE &RTN_ARCH)
```

変数の定義を追加します。

```
DCL          VAR(&RTN_ARCH) TYPE(*CHAR) LEN(1)
```

プログラムの先頭で、変数にデフォルト値をセットします。

```
CHGVAR      VAR(&RTN_ARCH) VALUE('Y')
```

WilComm iSeries アップグレード

以下のシステム値について、設定を確認して下さい。

(システム値の変更は、他システムへの影響がないことをシステム管理者に確認してください。)

QALWOBJRST : 設定されている値を控えて、*ALLに設定します。 アップグレードが終わったら元に戻して下さい。

QVFYOBJRST : 設定されている値を控えて、1に設定します。 アップグレードが終わったら元に戻して下さい。

(このシステム値は、OS のバージョンによっては、存在しない場合があります。)

Step1. WilCommの監視ジョブ (サブシステム) を停止します。

Step2. WilComm環境のバックアップ

テープなどのメディアで、以下のライブラリーを保管して下さい。

WILPLEXCHG

WILPLEX

WILPLEXD

WILPLEXSPL

Step3. WilComm関連のライブラリー名を以下のように変更して下さい。

WILPLEX → WILPLEX2

WILPLEXD → WILPLEXD2

WILPLEXSPL → WILPLEXSP2

ここまで作業が終わりましたら、端末をサインオフして下さい。

Step4. ラベル「Wilcomm 400 Ver.7.15 SP2」のCDを iSeries のCD-ROMドライブにセットして下さい。

Step5. ユーザーQSECOFR でサインオンし、以下のコマンドを実行して下さい。

LODRUN *OPT

Step6. 以下のコマンドを実行して下さい。

UPDWPX

Step7. 動作確認を行い、問題が無ければ以下のライブラリーを削除します。

何か問題が発見された場合は、次ページの手順で元の環境に復元して下さい。

WILPLEX2

WILPLEXD2

WILPLEXSP2

何か問題があった場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

緊急の場合には、iSeries 環境の復元を参照して、アップグレード前の状態に復元して下さい。

以上で、WilComm iSeries のアップグレードは終わりです。

2. WilComm PCアップグレード作業

Step1. ウィルコムフル・バックアップ

アップグレード後、不具合が発生した場合に備えて、WilComm がインストールされているフォルダ全体 (WilComm Universal) をバックアップします。

バックアップはテープ等の媒体へ保管して頂くか、ネットワーク上の他のPC、あるいは、PCサーバー内の任意のフォルダへ WilComm Universal フォルダをコピーして下さい。

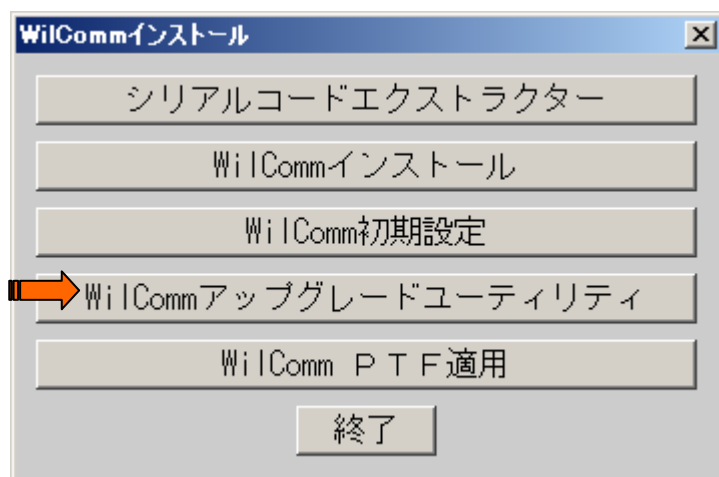
ウィルコムがデフォルト・パスでインストールされている場合は以下のフォルダです。
C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal

(注意) Wilcomm がインストールされていたフォルダ・パスを控えておいてください。Step 6 で Wilcomm Ver.7.15 SP2 をインストールする際、同じフォルダ・パスでインストールする必要があります。(P22)

Step2. インストールCDのセット

「Wilcomm 400 Ver.7.15 SP2」のCDをPCサーバーのCD-ROMドライブへセットして下さい。

もし自動起動しない場合は、CD-ROMの WilMenu.exe を実行して下さい。

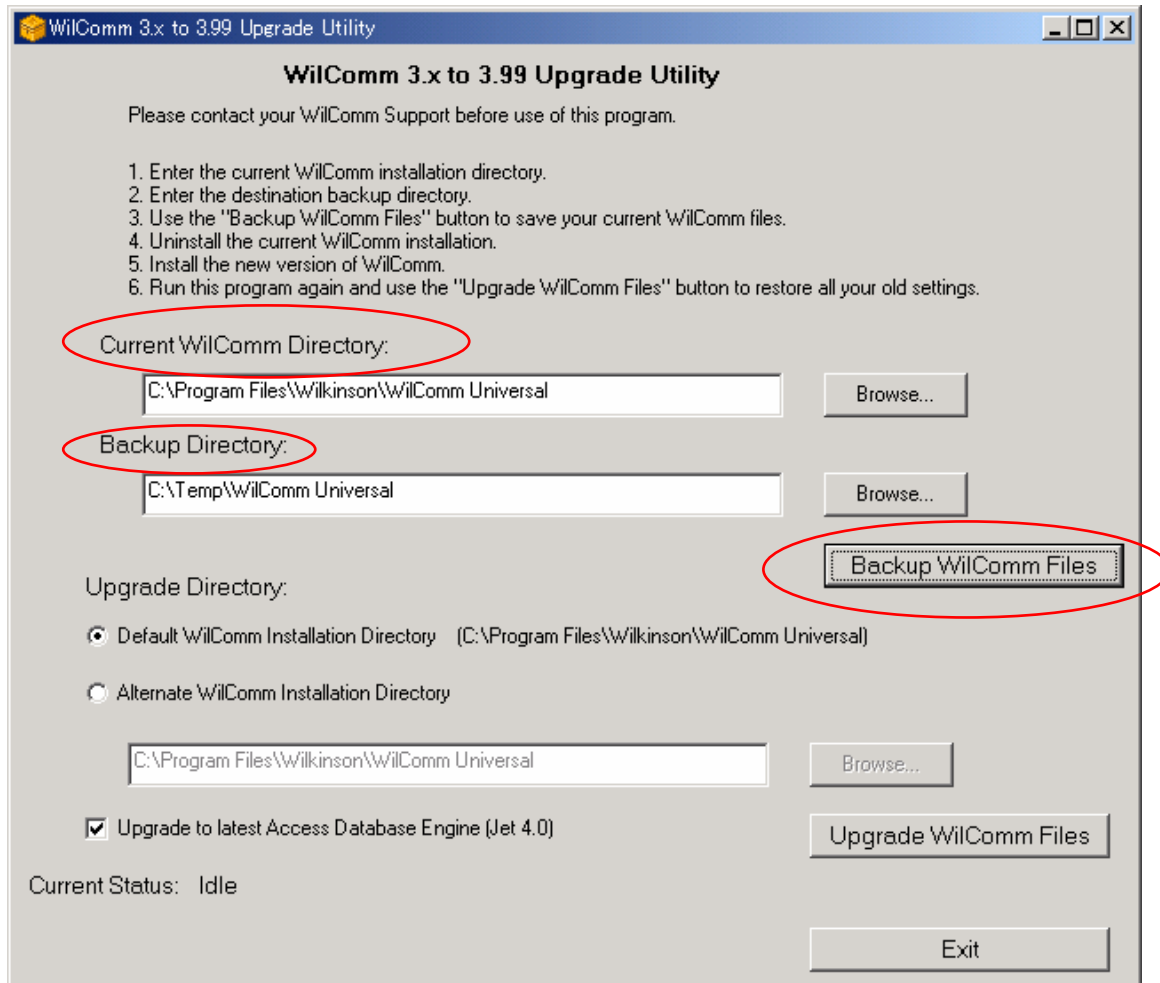


Upgrade to Ver.7.15 SP2

Step 3. アップグレード・ユーティリティによるバックアップ

「WilCommアップグレードユーティリティ」を実行します。

この処理では、WilComm 全てではなく、設定ファイル等の一部のファイルが保管されます。



Current WilComm Directory

WilComm が導入されているフォルダ (WilComm Universal) を指定します。
デフォルトで導入した場合のフォルダ・パスが、初期値として画面に表示されています。
デフォルト以外の場所へ導入している場合は、右側の[Browse]ボタンを押して導入先のフォルダを指定します。

Backup Directory

現在使用している WilComm に設定された情報 (フォーム、設定ファイル) をバックアップするフォルダを指定します。
デフォルトとして指定されている場所以外に保管したい場合には、右側の[Browse]ボタンを押してバックアップ先のフォルダを指定します。
もし指定したフォルダが存在しない場合、自動的に作成されます。

[Backup WilComm Files]ボタンを押します。



[OK]ボタンを押します。

[Exit]ボタンを押して、WilCommアップグレード・ユーティリティを終了します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2

Step 4. ウィルコムのアインストール

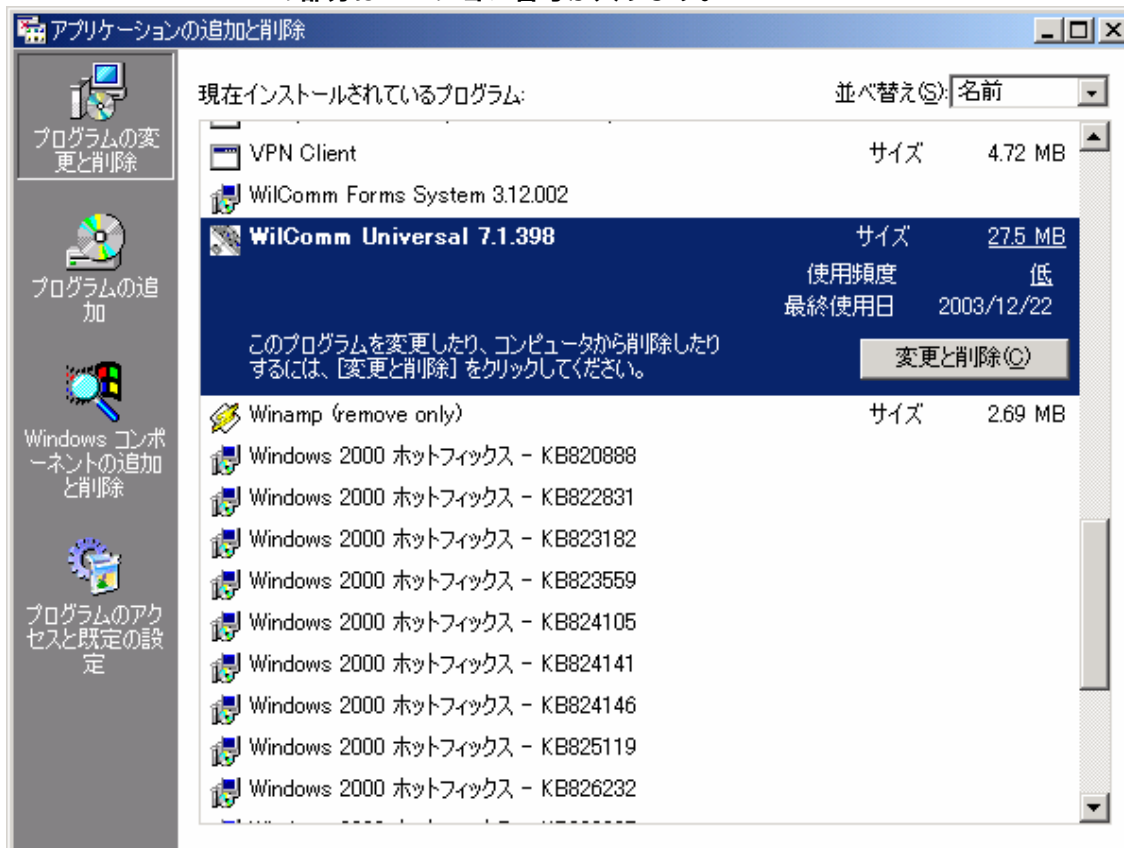
現在使用している WilComm をアインストールします。

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を開きます。

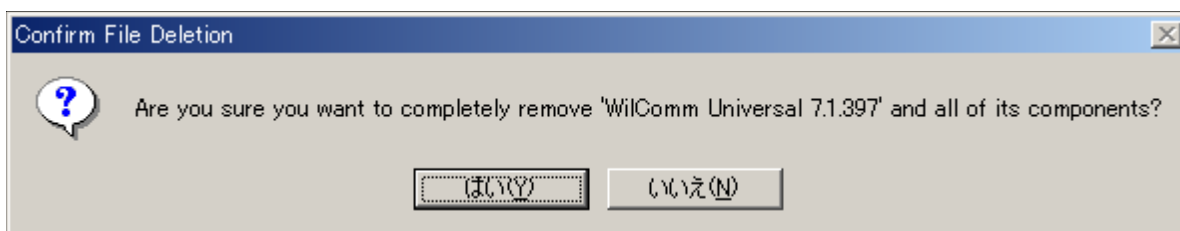
[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

一覧で表示された中から [WilComm Universal X.X.XXX] を選択します。

X.X.XXX の部分はバージョン番号が入ります。

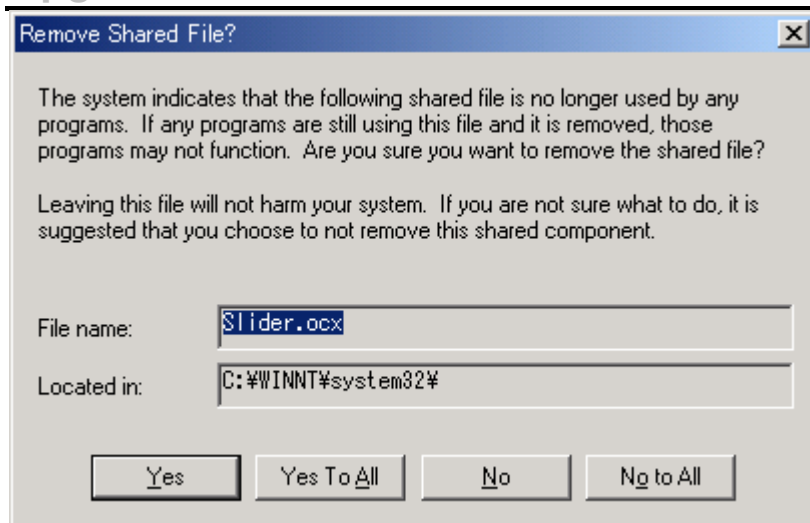


[変更と削除]ボタンを押します。(Windows2000 の場合)

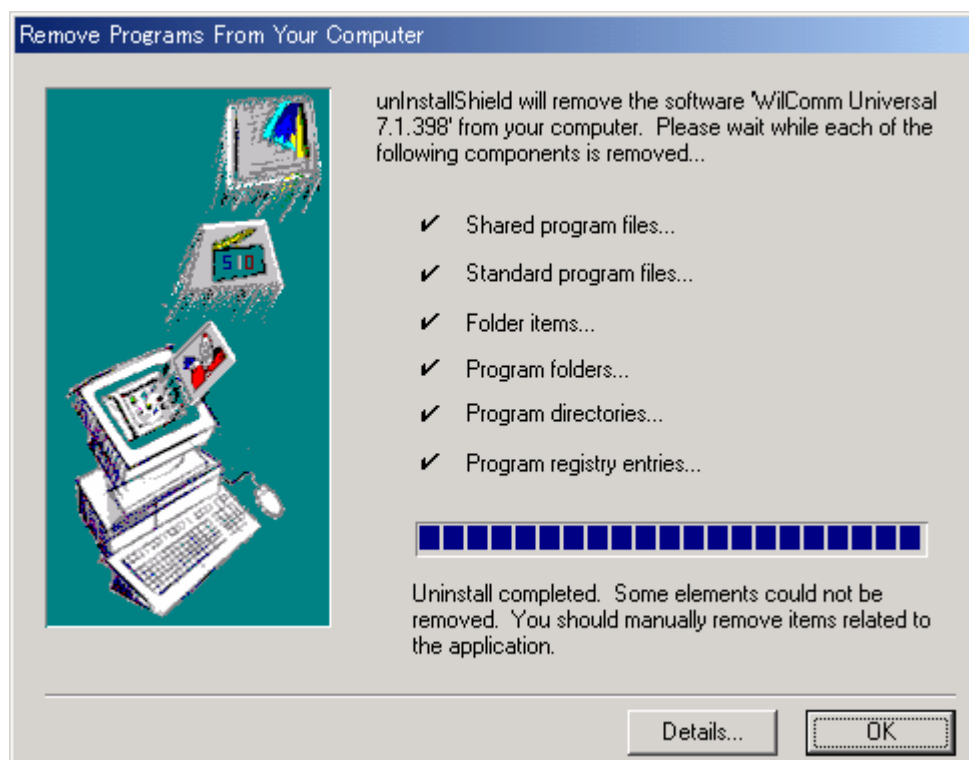


[はい]ボタンを押します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2



アンインストールの途中で、このような画面が数回出る場合がありますが、すべて「Yes」ボタンを押して、アンインストールを継続してください。



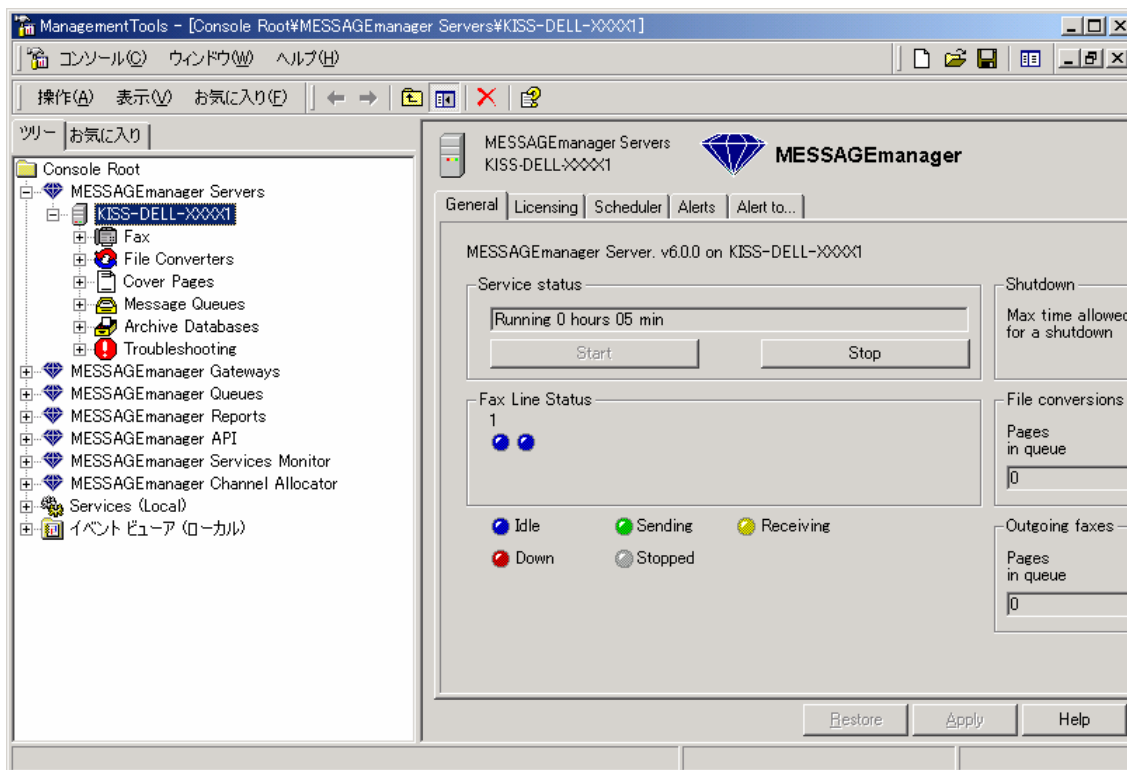
アンインストールが終了しましたら、「OK」ボタンを押してください。

***ウィルフォームス・デザイナー(WilComm Forms System) がインストールされている場合は、ウィルフォームス・デザイナー(WilComm Forms System)を同要領で削除してください。ウィルフォームス・デザイナー(WilComm Forms System)は、お客様の環境によってはインストールされていない場合があります。**

Step 5. MESSAGEmanager のアンインストール

WilComm のファックス機能をお使いで、MESSAGEmanager がインストールされている場合は、アンインストールします。

インストールされていない場合は、Step 6 に進んでください。



MESSAGEmanager コンソールを起動します。

「Stop」ボタンを押して MESSAGEmanager を停止します。

MESSAGEmanager のバージョンによっては、日本語表記で「中止」ボタンを押します。



「はい」ボタンを押します。

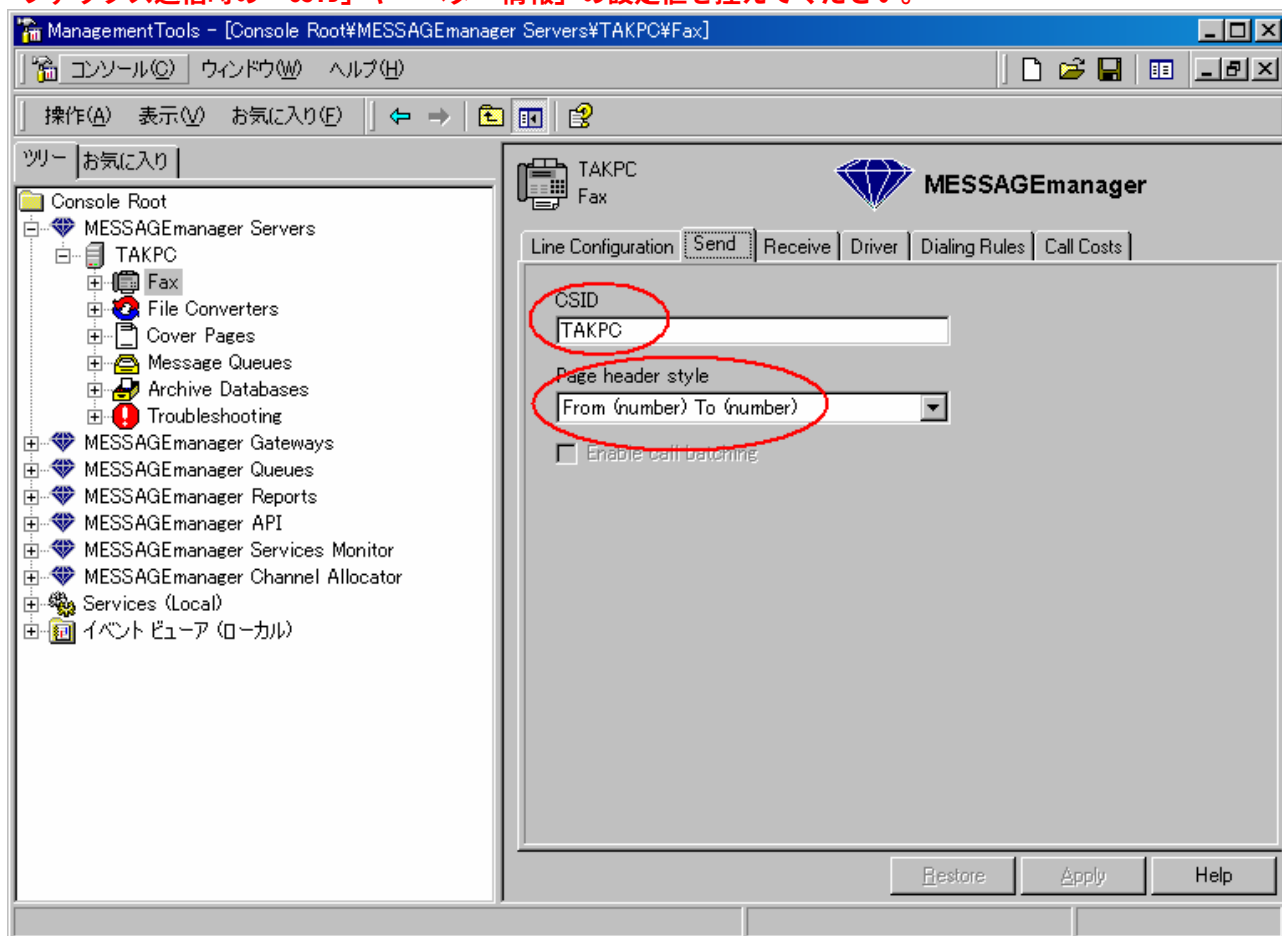


ManagementTools - [Console Root#MESSAGEmanager Servers#TAKPC]

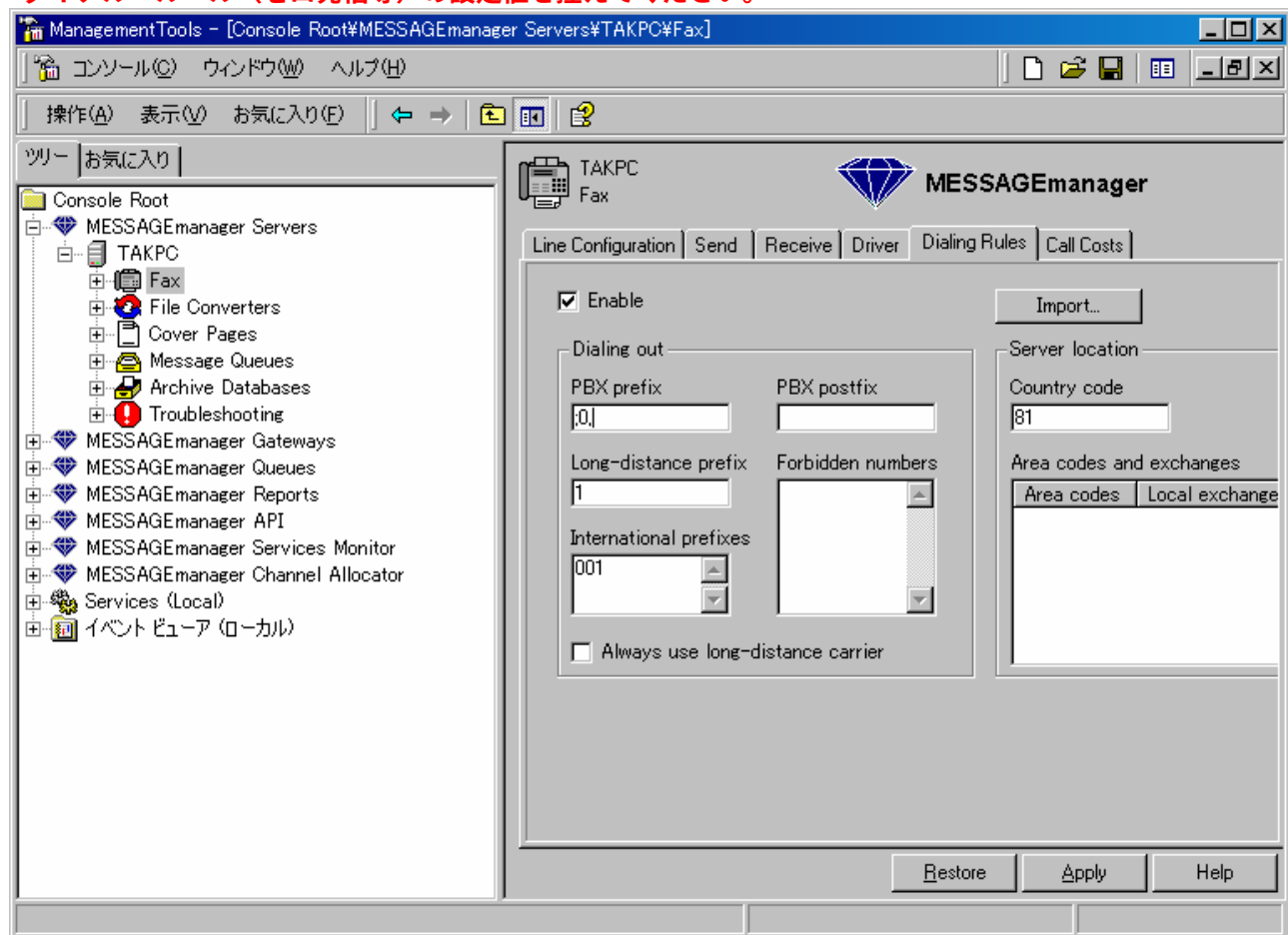


Upgrade to Ver.7.15 SP2

***ファックス送信時の「CSID」や「ヘダー情報」の設定値を控えてください。**



***ダイヤル・ルール（ゼロ発信等）の設定値を控えてください。**



その他、お客様固有の設定値がある場合は、あわせて控えてください。

Step.10 で MESSAGEmanager Ver.6.x/7.0 をインストールした後、控えていただきました設定値を再設定してください。

設定値を控えていただきましたら、MESSAGEmanager コンソールを終了します。

MESSAGEmanager 現行バージョンの削除を行います。

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を開きます。

[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

一覧で表示された中から [MESSAGEmanager] を選択します。

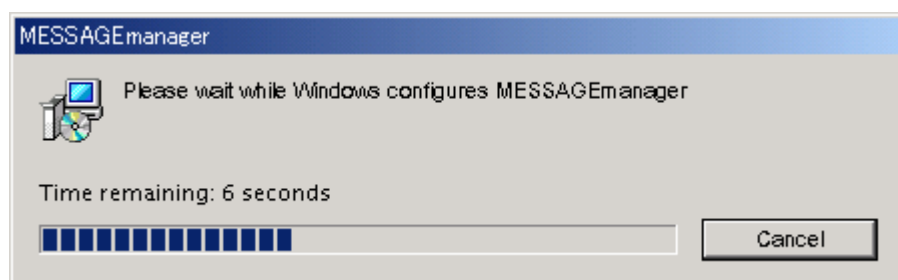
Upgrade to Ver.7.15 SP2



「削除」ボタンを押します。(Windows2000 の場合)

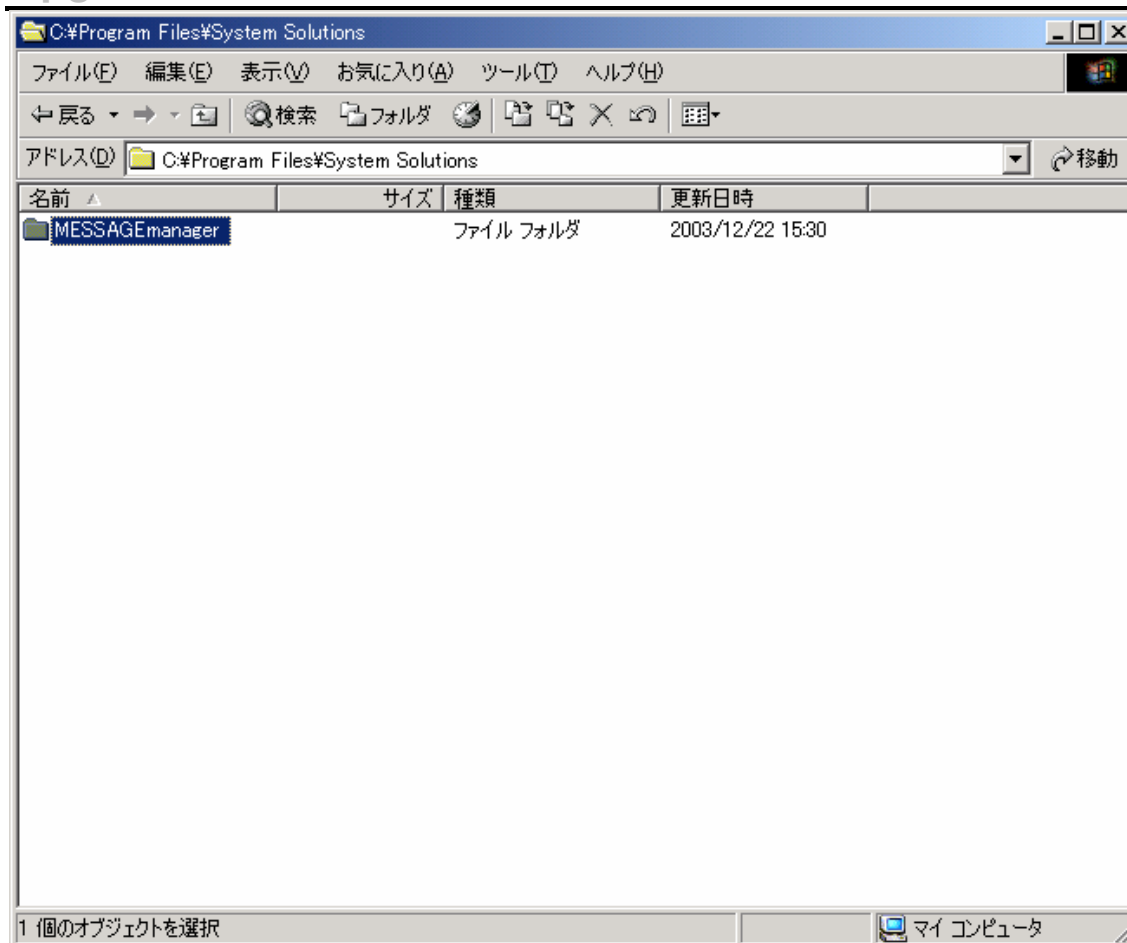


「はい」ボタンを押します。↓



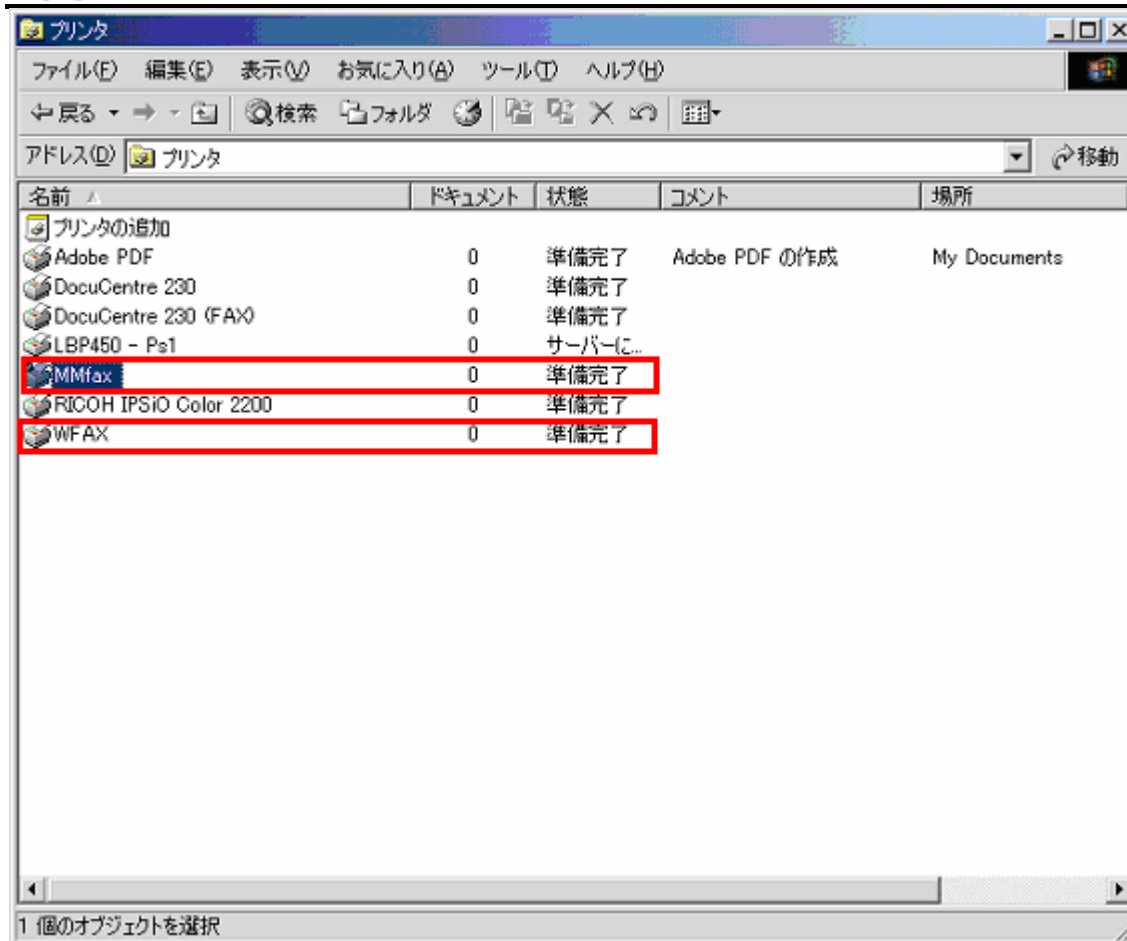
アンインストールが終了しますと、このウィンドウも自動的に閉じます。

Upgrade to Ver.7.15 SP2



アンインストール後も MESSAGEmanager のフォルダは残りますので削除してください。
(ドライブ名はお客様の環境で読み替えてください。)

Upgrade to Ver.7.15 SP2



Windows のプリンタ・フォルダを開きます。

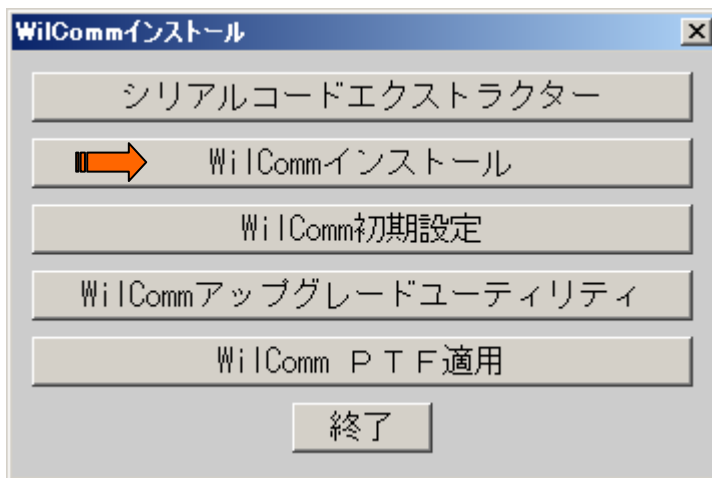
「MMfax」「WFAX」が存在する場合は、右クリックから「削除」を選択して削除してください。

アンインストールが終了したら、CD-ROMを取り出してPCサーバーを再起動します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2

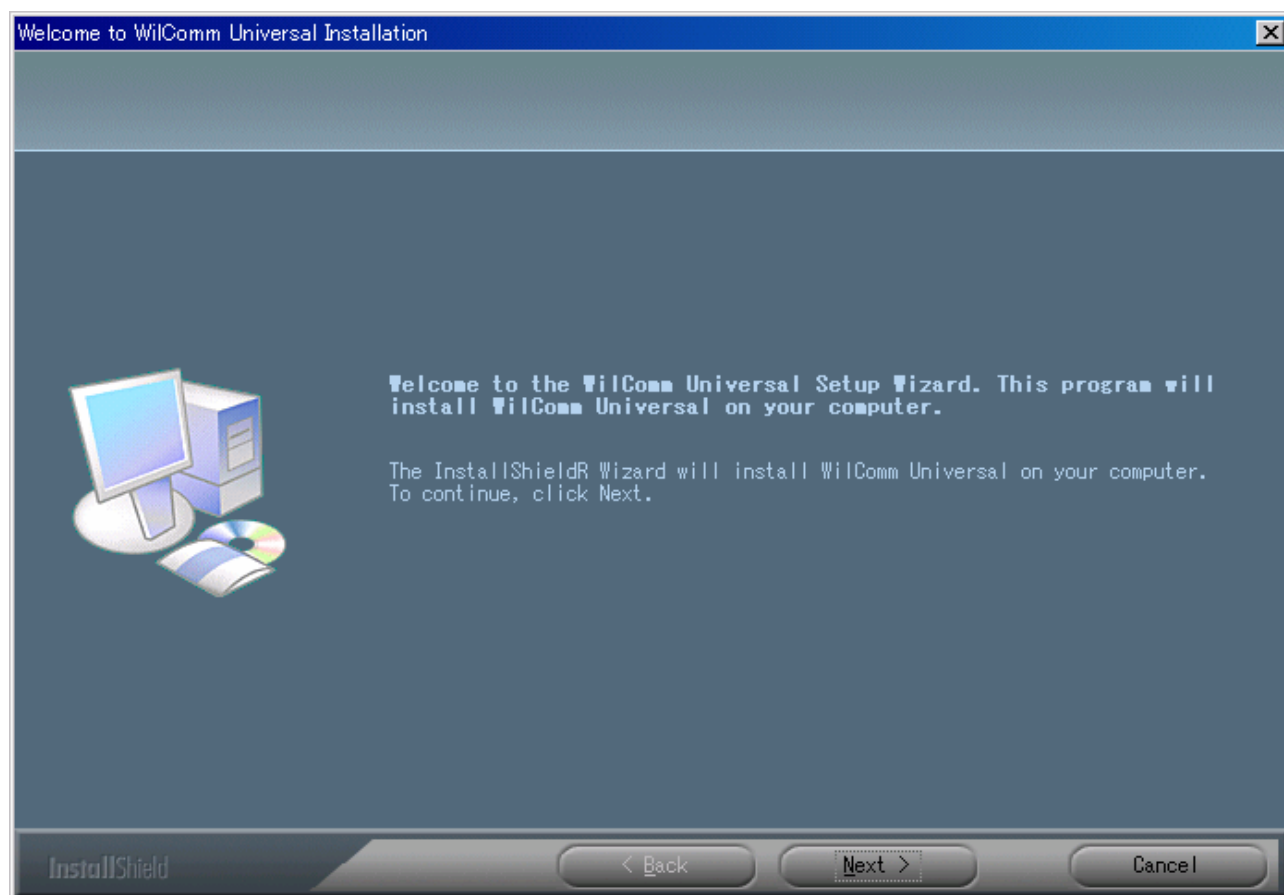
Step 6. Wilcomm Ver.7.15.SP2 のインストール

「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」のラベルが付いた CD を PC サーバーの CD-ROM ドライブにセットして下さい。
自動的に下記のようなメニューが表示されます。
自動的に表示されない場合は、CD のルートにある WILMENU.EXE を実行して下さい。



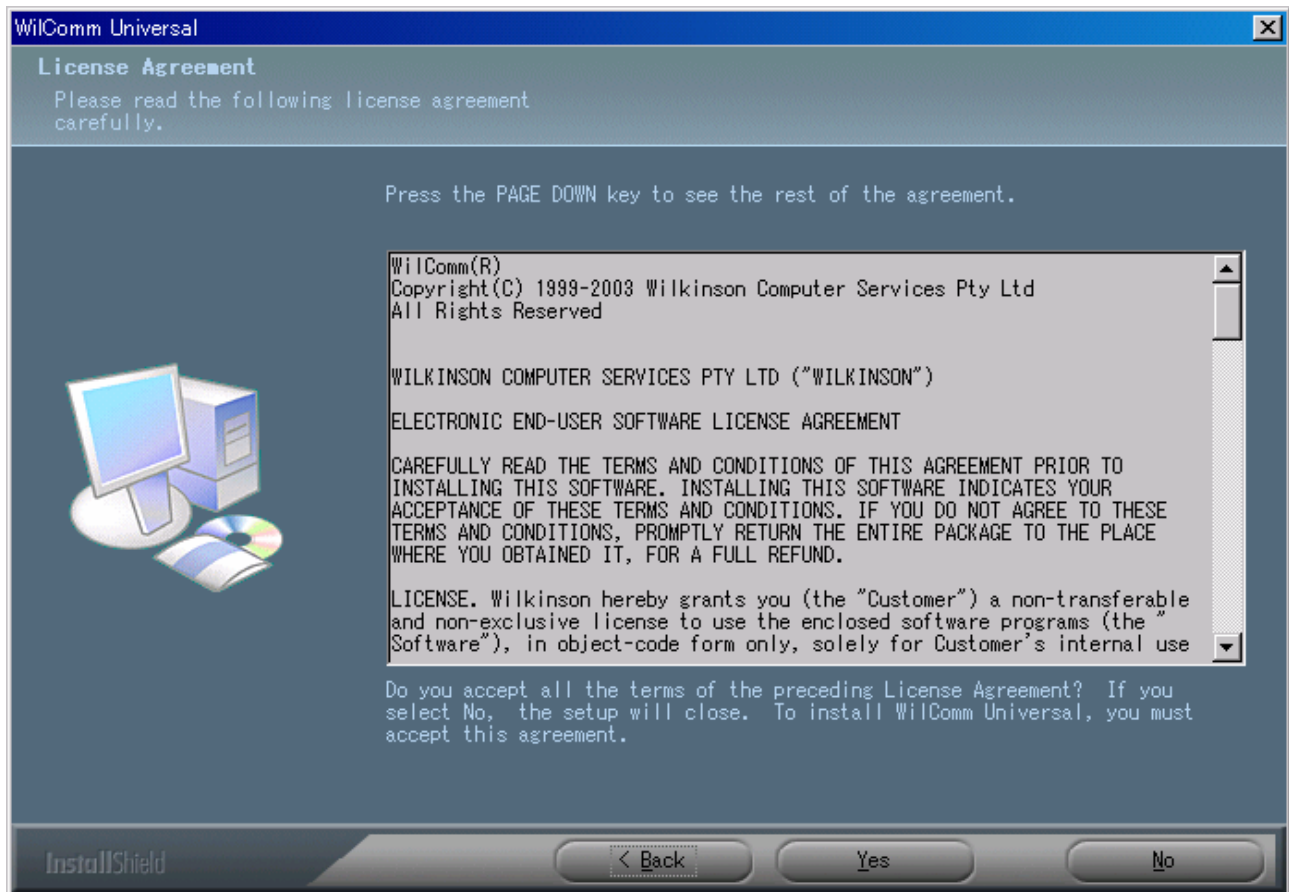
[WilCommインストール]を実行します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2



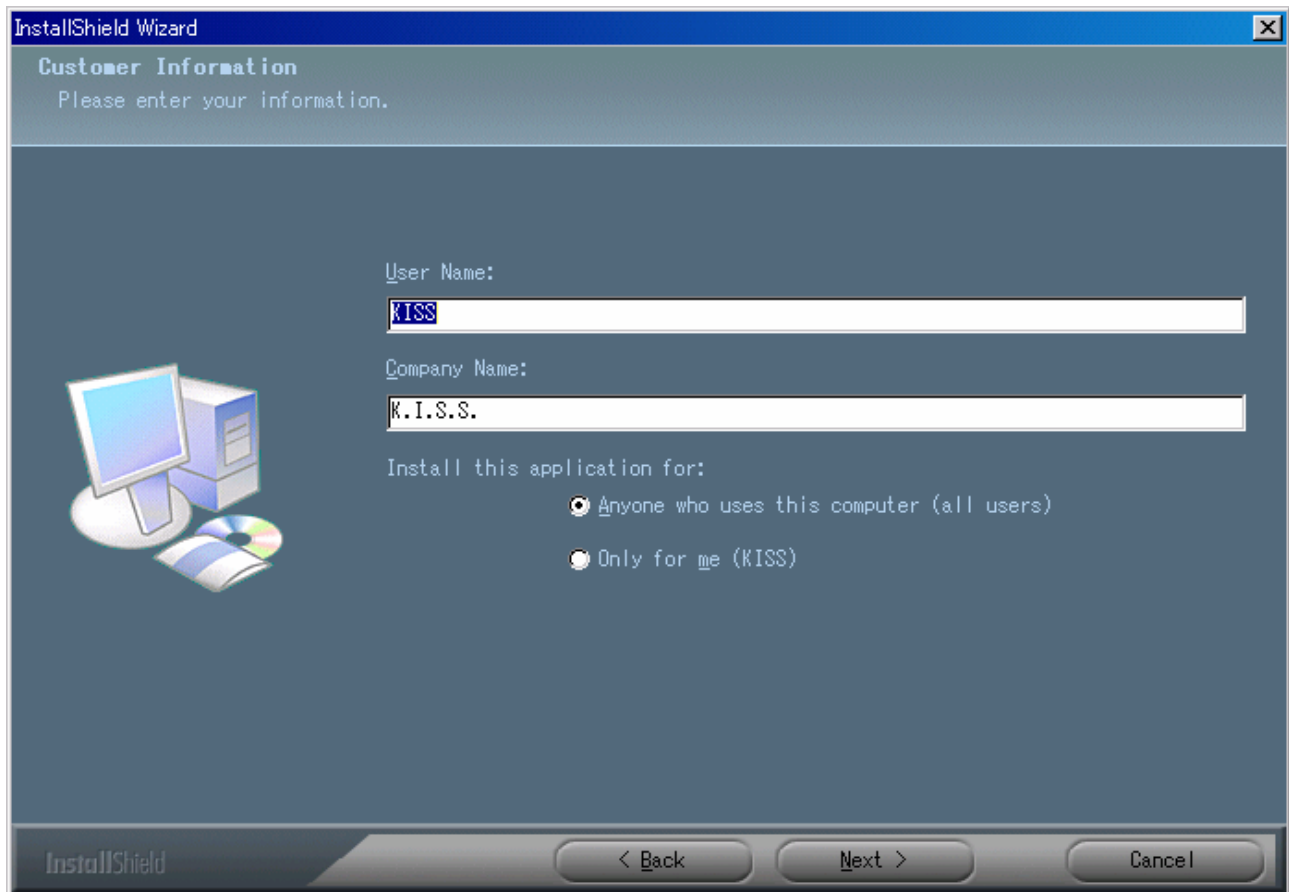
[Next >]ボタンを押します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2



[Yes]ボタンを押します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2



InstallShield Wizard

Customer Information
Please enter your information.

User Name:
KISS

Company Name:
K.I.S.S.

Install this application for:

- ☒ Anyone who uses this computer (all users)
- ☐ Only for me (KISS)

InstallShield

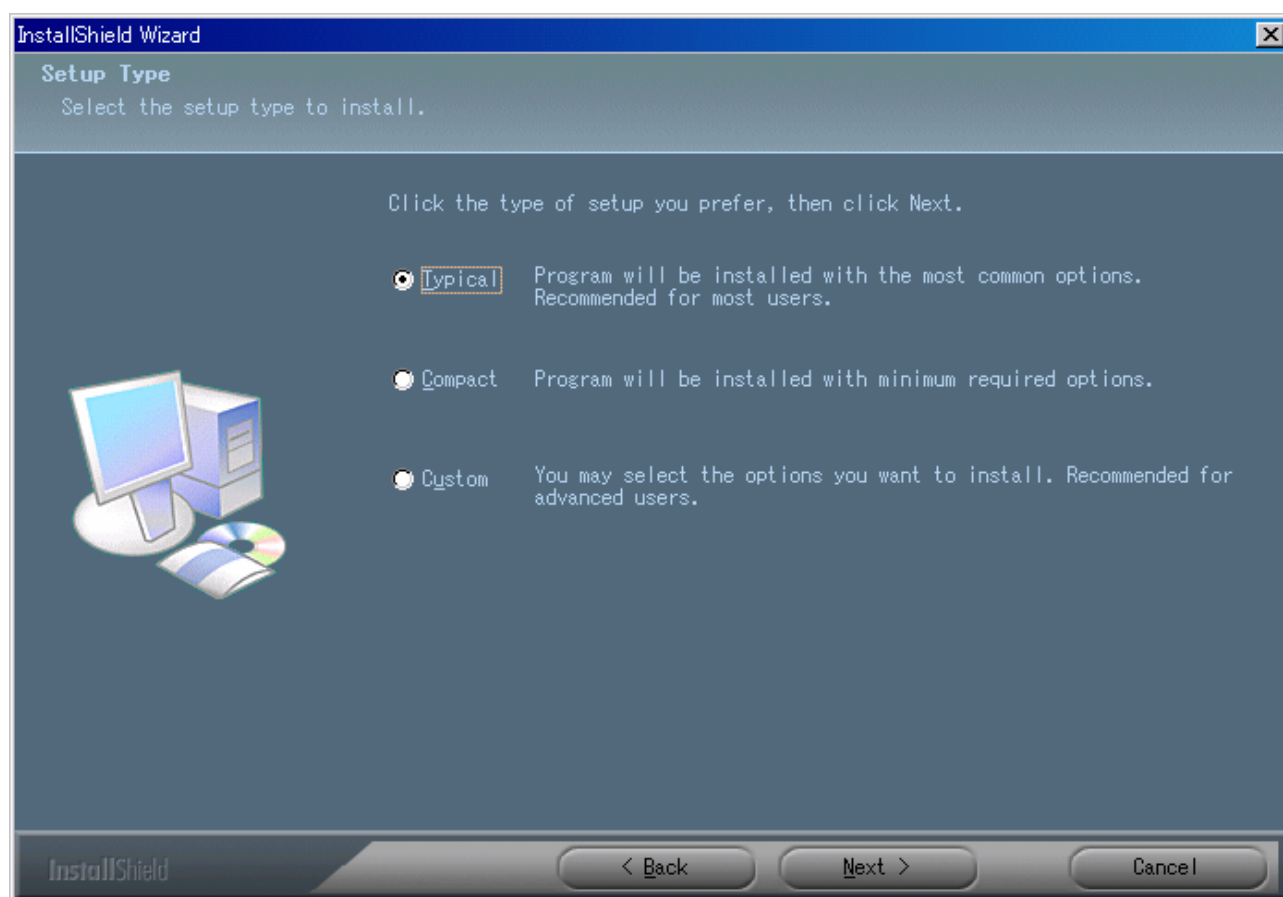
< Back Next > Cancel

[User Name]と[Company Name]の項目を入力します。

[Install this application for]は、[Anyone who uses this computer (all users)]に印を付けます。

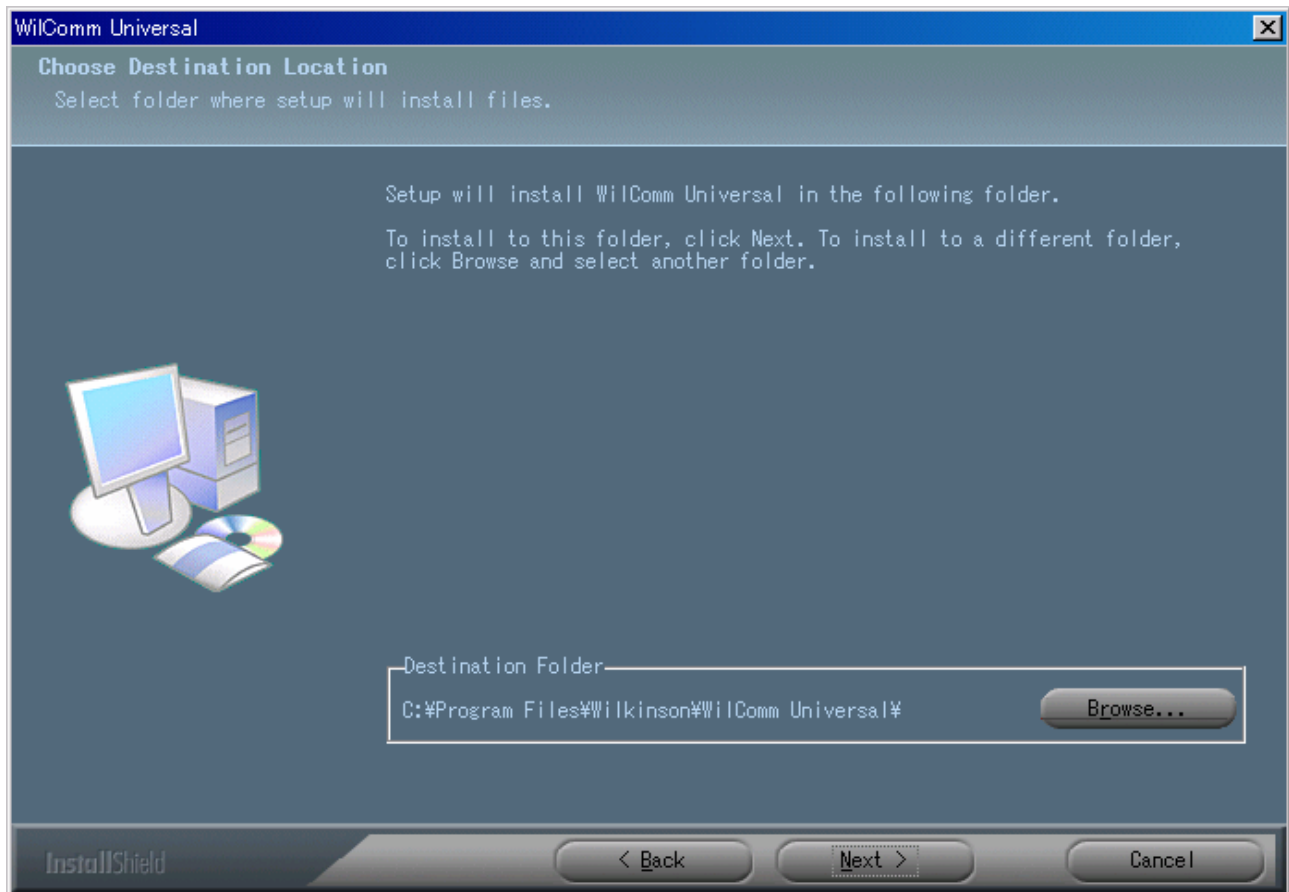
[Next >]ボタンを押します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2



[Typical] に印を付けて[Next >]ボタンを押します。

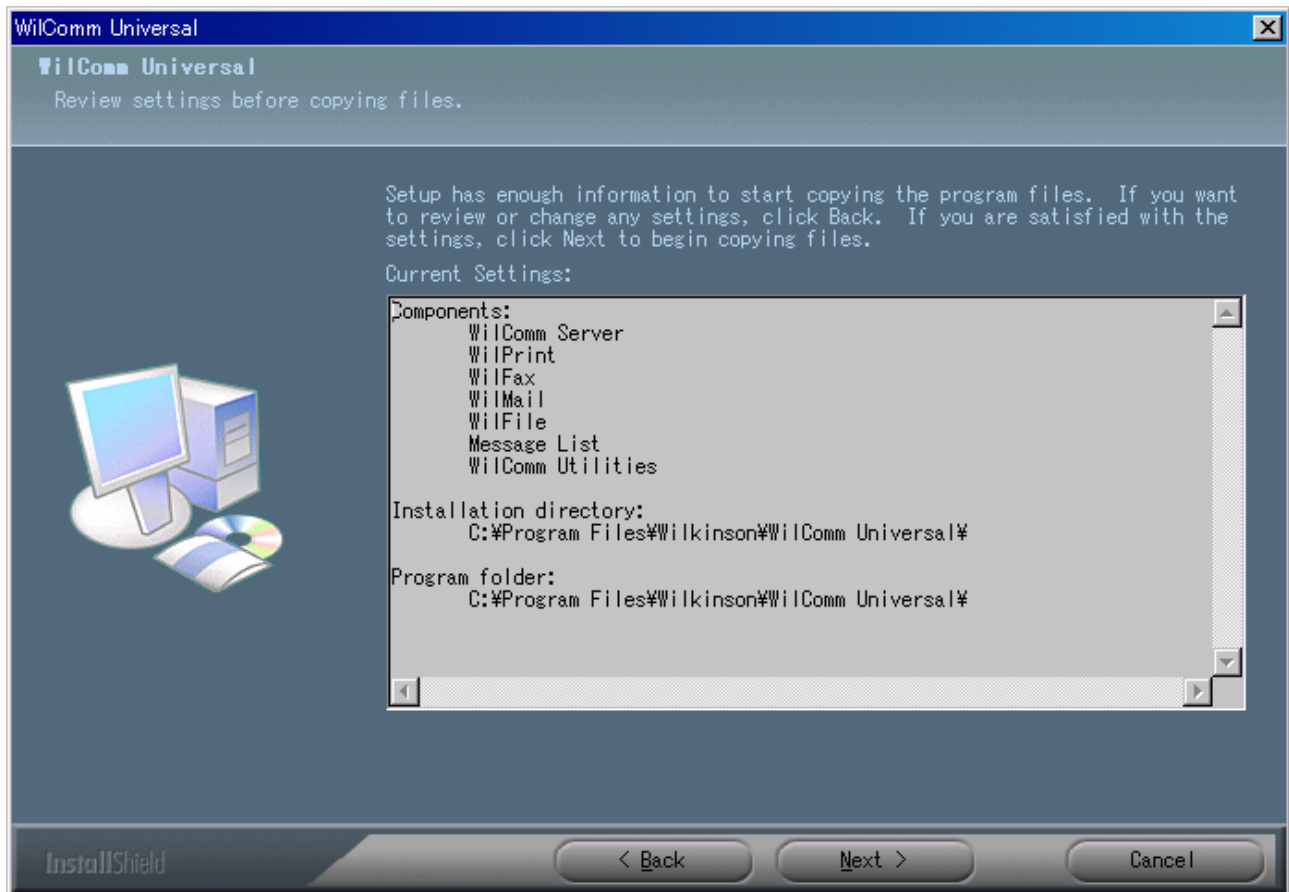
Upgrade to Ver.7.15 SP2



インストール先を変更するのであれば、[Browse...]ボタンを押して、場所を指定して下さい。
[Next >]ボタンを押します。

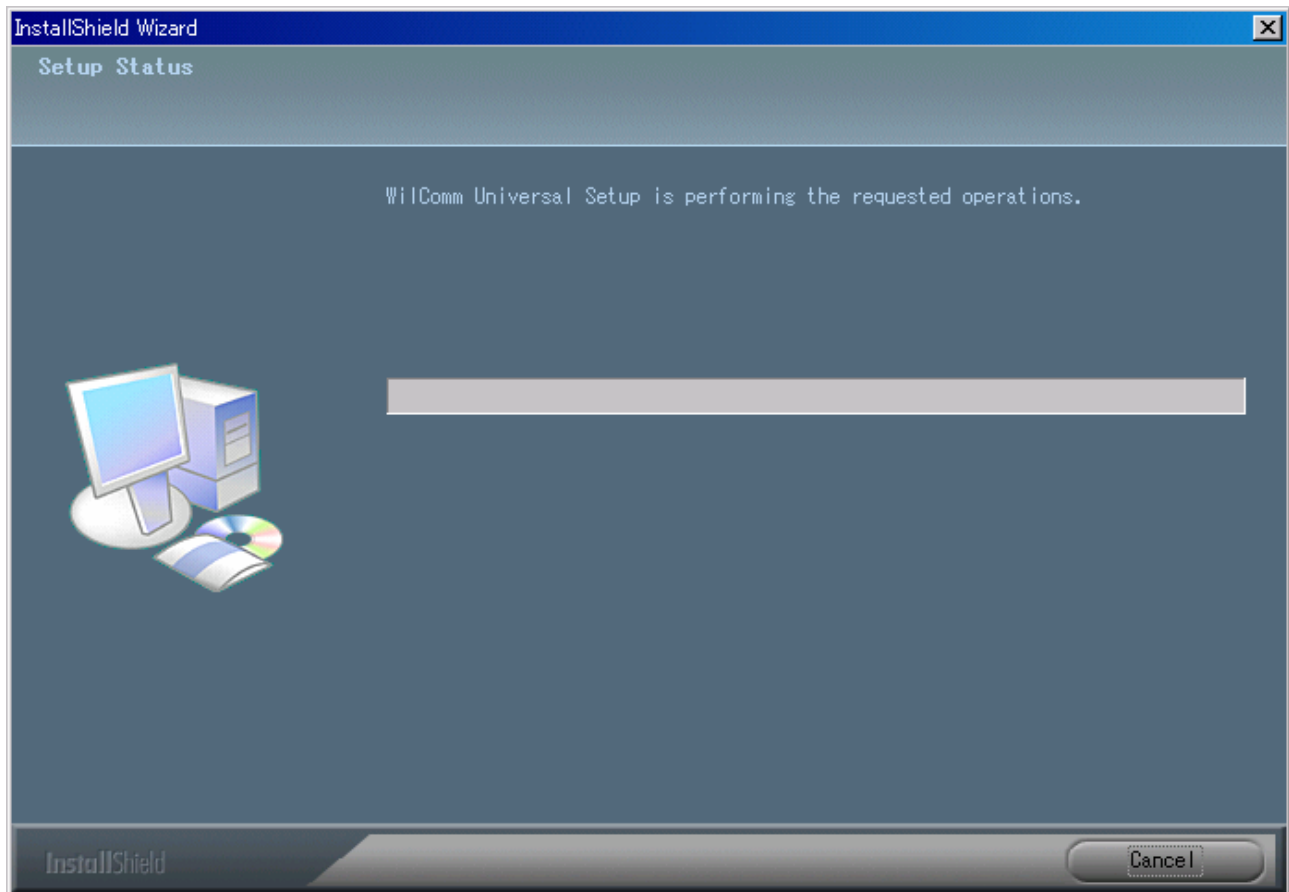
(注意) Step.4で削除したウィルコムと同一のフォルダ・パスを指定してインストールしてください。(Step1で控えていただきましたフォルダ・パス)

Upgrade to Ver.7.15 SP2



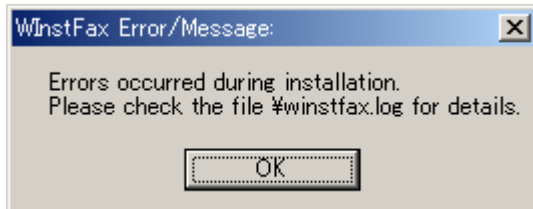
[Next >]ボタンを押します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2

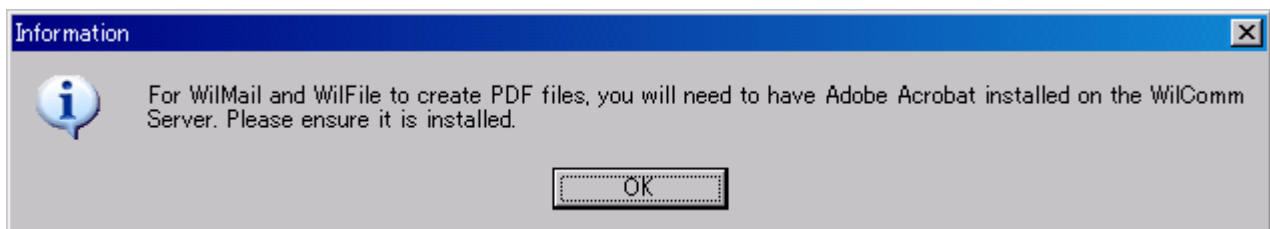


インストールが開始されます。しばらくお待ち下さい。

Windows2003 の場合、以下のメッセージが出る場合があります。

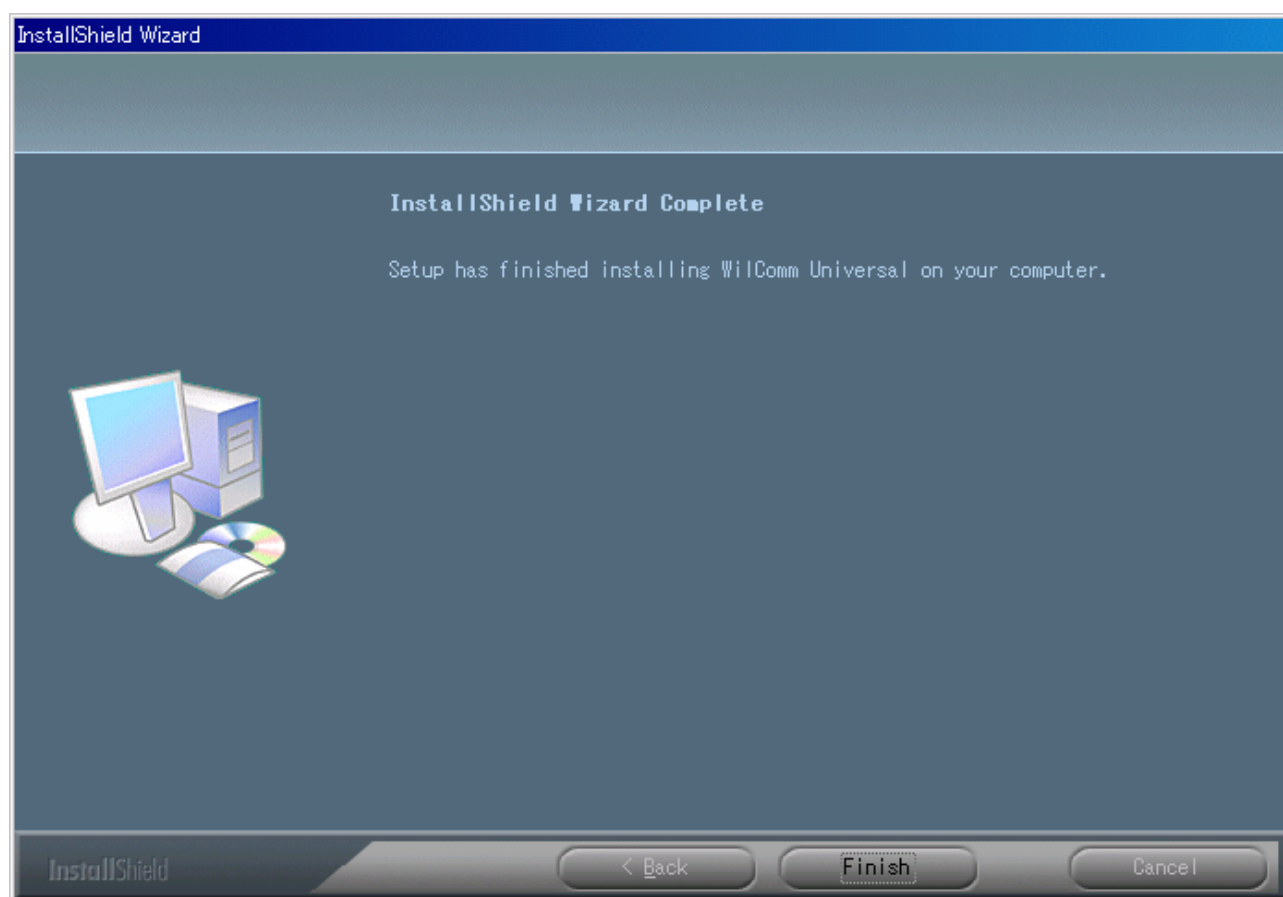


「OK」 ボタンを押してください。**(次頁まで進んだ後、P26 からの作業に進んでください。)**



[OK]ボタンを押します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2



[Finish]ボタンを押します。

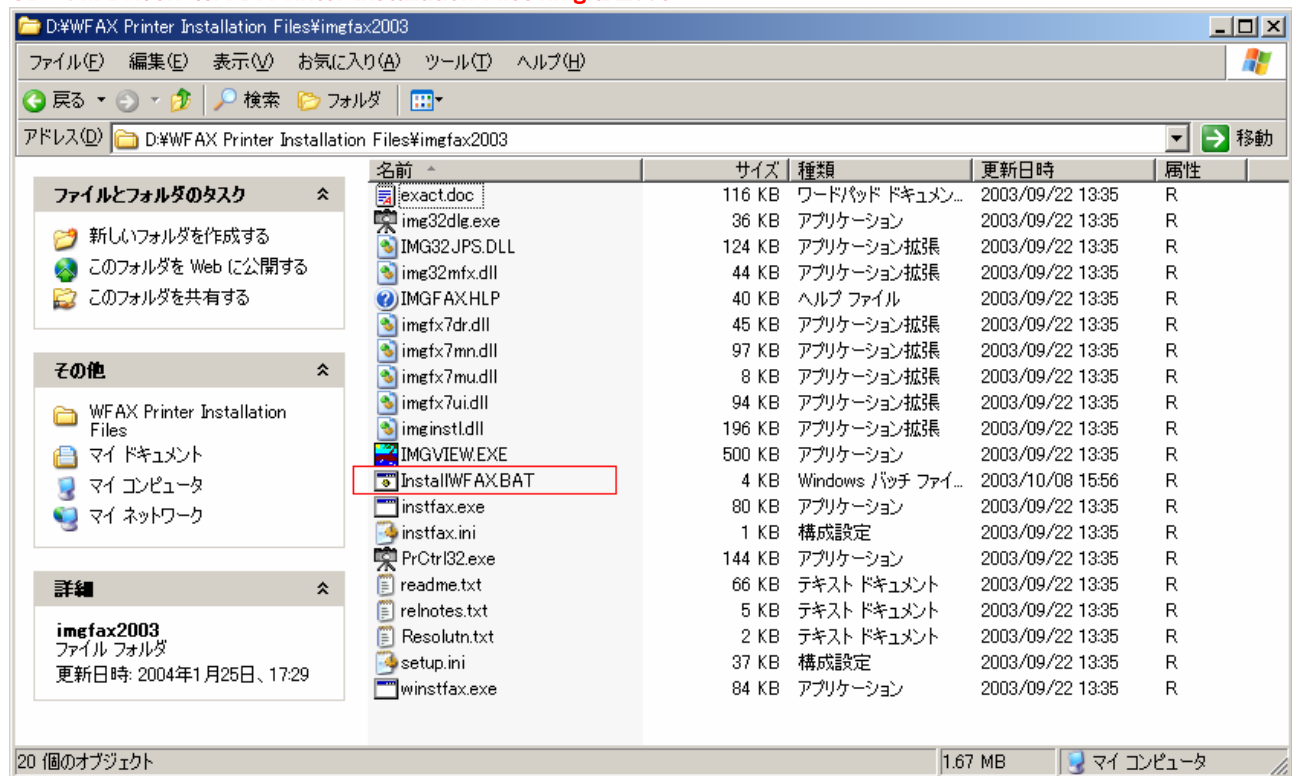
Windows2003 へのインストールで、**P24 の青枠部分**のエラーメッセージが表示された場合は、次頁に進んでください。それ以外は P29 に進んでください。

Upgrade to Ver.7.15 SP2

Windows2003 へのインストールで、**P24 の青枠部分**のエラーメッセージが表示された場合には、以下を実施してください。

「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」のラベルが付いたCDの以下ノフォルダをマイコンピュータから開いてください。

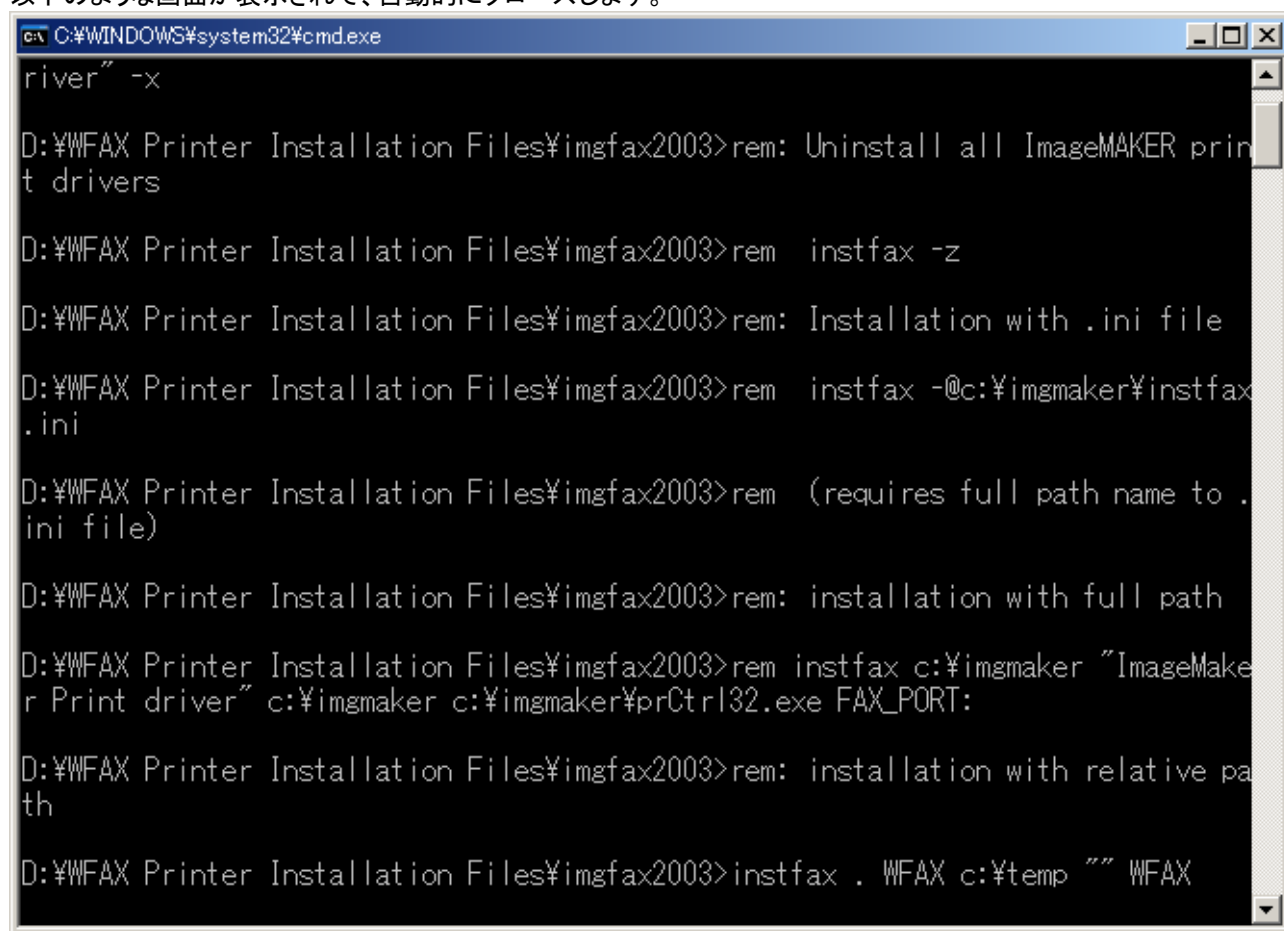
CDROM Drive:¥ W FAX Printer Installation Files¥imgfax2003



InstallW FAX.bat をダブルクリックします。

Upgrade to Ver.7.15 SP2

以下のような画面が表示されて、自動的にクローズします。



```
C:\> C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
river" -x

D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem: Uninstall all ImageMAKER printer drivers

D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem instfax -z

D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem: Installation with .ini file

D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem instfax -@c:\imgmaker\instfax.ini

D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem (requires full path name to .ini file)

D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem: installation with full path

D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem instfax c:\imgmaker "ImageMaker Print driver" c:\imgmaker c:\imgmaker\prCtrl32.exe FAX_PORT:

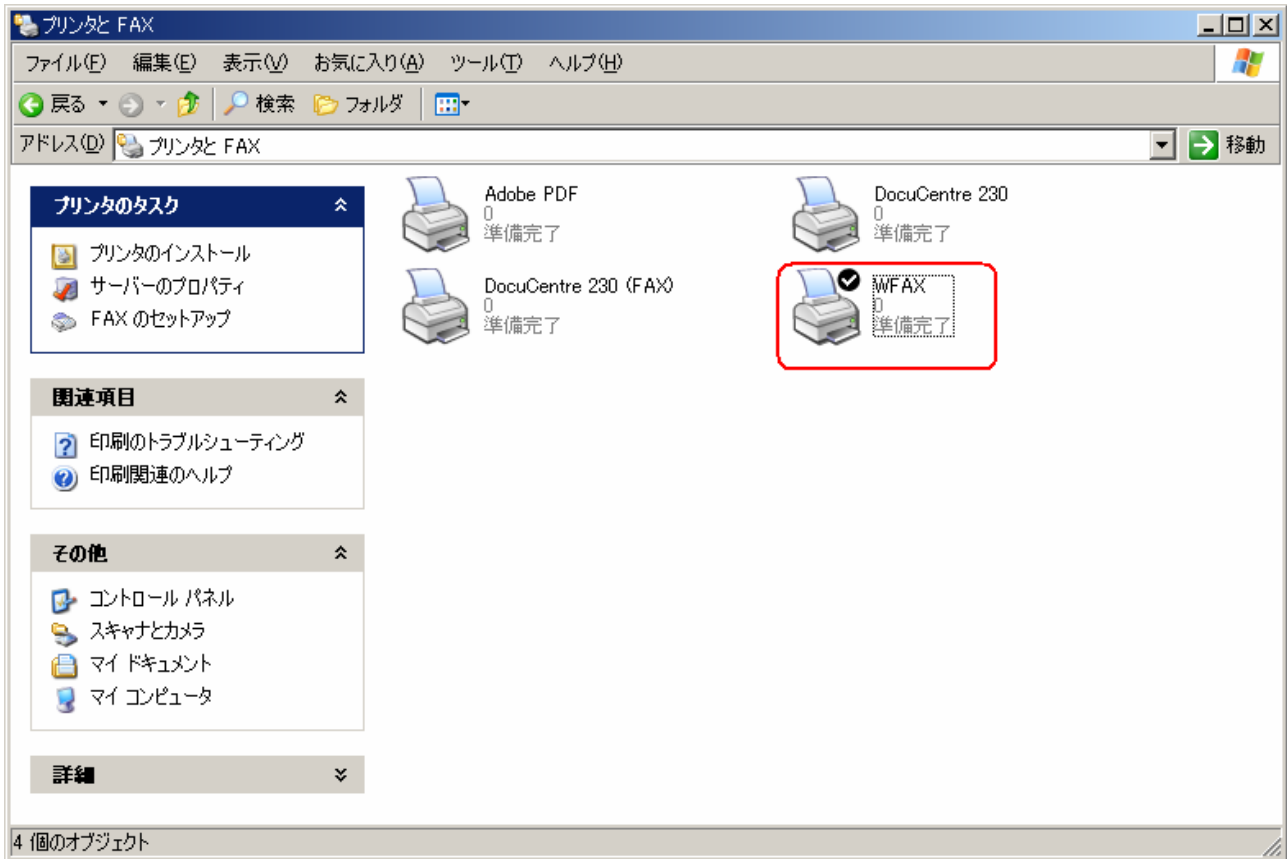
D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem: installation with relative path

D:\WFAAX Printer Installation Files\imgfax2003>instfax . WFAAX c:\temp "" WFAAX
```

クローズしましたら終了です。

Upgrade to Ver.7.15 SP2

Windows2003 の「プリンタと FAX」フォルダを開いてください。

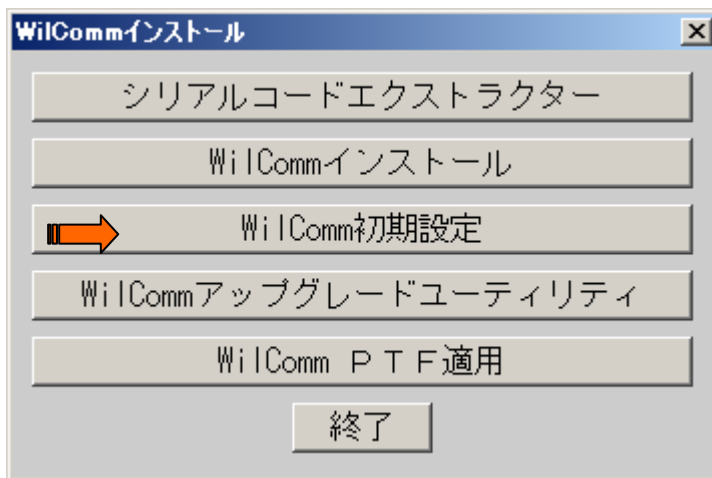


「WFAX」というアイコンが存在していれば正常です。

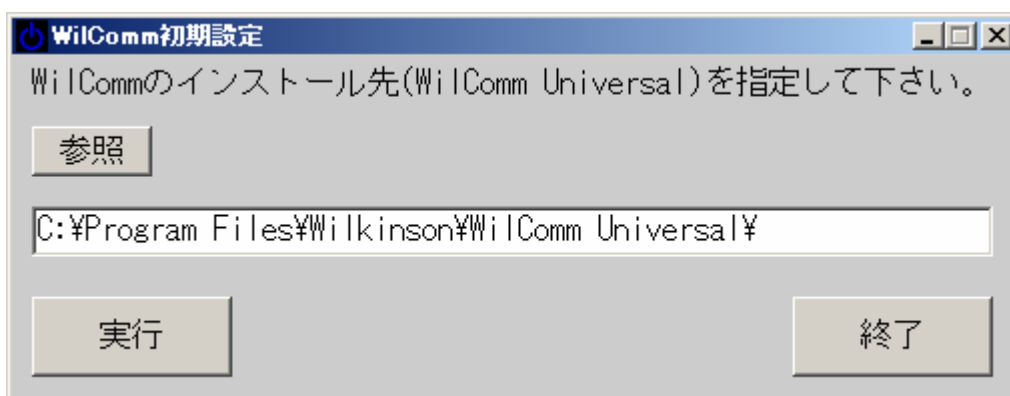
Upgrade to Ver.7.15 SP2

Step 7. WilComm の初期設定

ラベル「WilComm Server Ver.7.15 SP2」の CD を PC サーバーの CD-ROM ドライブにセットして下さい。
自動的に下記のようなメニューが表示されます。
自動的に表示されない場合は、CD のルートにある WILMENU.EXE を実行して下さい。

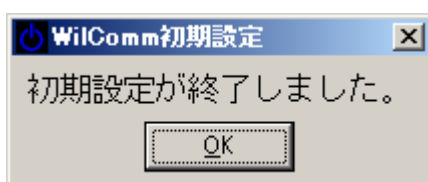


[WilComm初期設定]を実行します。



WilComm を導入したフォルダー（WilComm Universal）を選択します。
デフォルトでインストールした場合、**C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm Universal** になります。
パスを変更する場合は、「参照」ボタンを押して指定してください。

実行ボタンを押します。

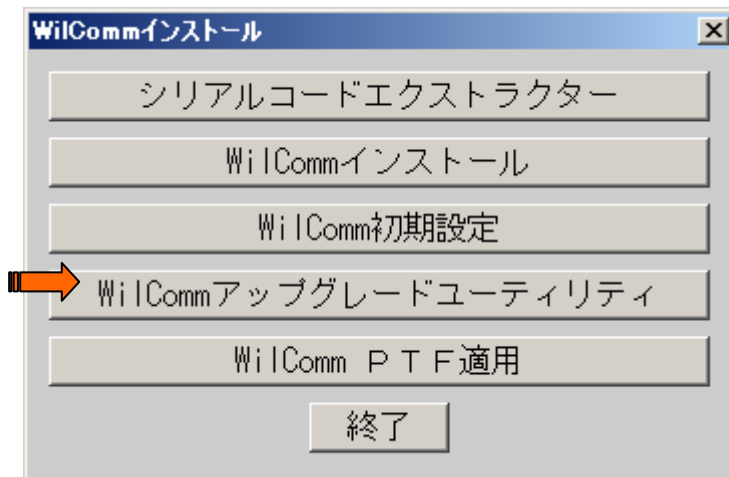


[OK]ボタンを押します。

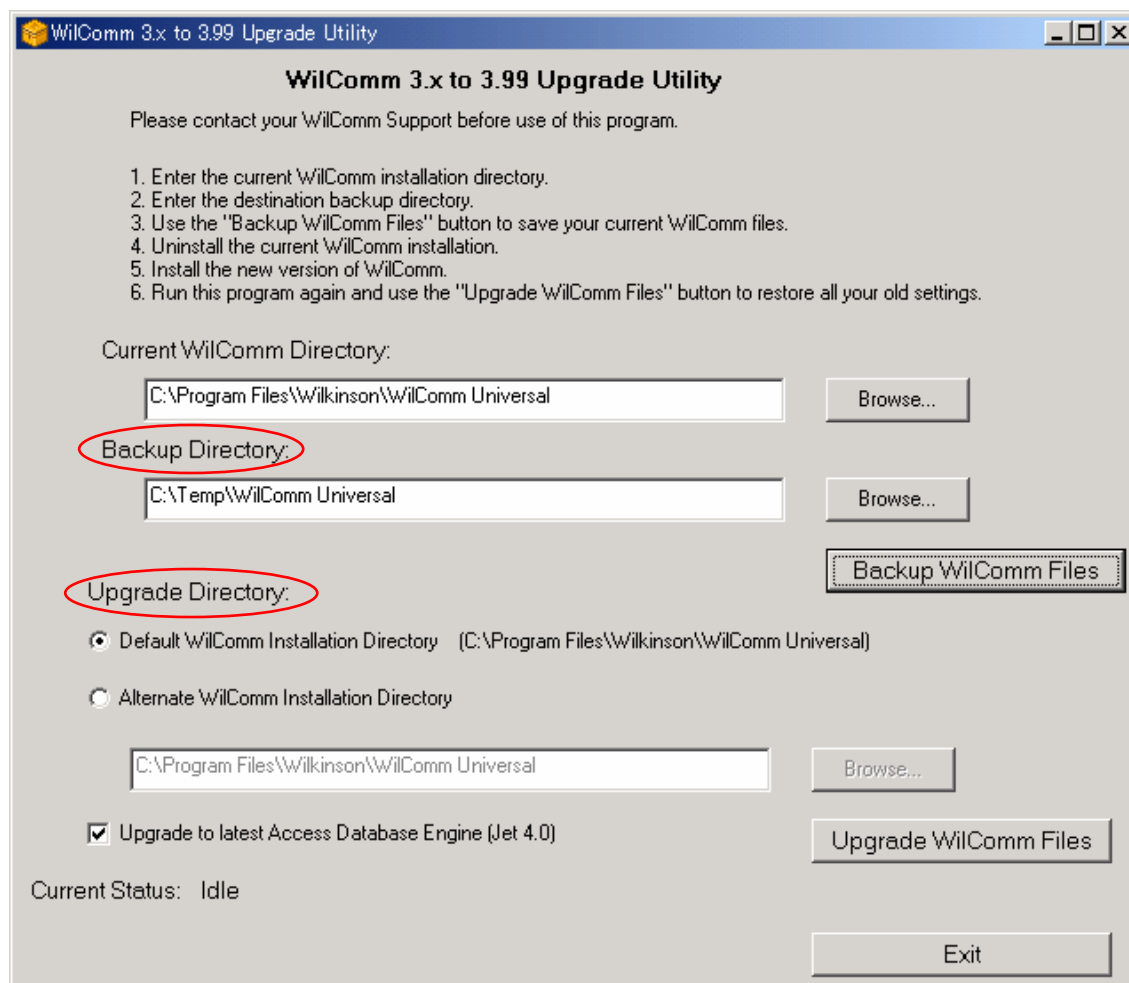
終了ボタンを押してプログラムを終了させます。

Step 8. アップグレード・ユーティリティによる設定の復元

「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」のラベルが付いた CD を PC サーバーの CD-ROM ドライブにセットして下さい。
自動的に下記のようなメニューが表示されます。
自動的に表示されない場合は、CD のルートにある WILMENU.EXE を実行して下さい。



[WilCommアップグレードユーティリティ]を実行します。



Backup Directory

Step 3 で WilComm に設定された情報（フォーム、設定ファイル）をバックアップしたフォルダを指定します。

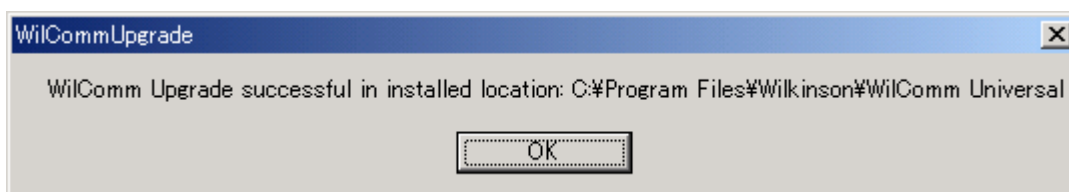
デフォルト指定されている場所以外に保管している場合には、右側の[Browse]ボタンを押してバックアップ先のフォルダを指定します。

Upgrade Directory

Step 6 で Wilcomm Ver.7.15.SP2 をインストールしたフォルダ・パスが「C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal」の場合は、「Default WilComm Installation Directory」にチェックします。

それ以外にインストールした場合は、「Alternate WilComm Installation Directory」にチェックして、パスを指定してください。

[Upgrade WilComm Files]ボタンを押します。



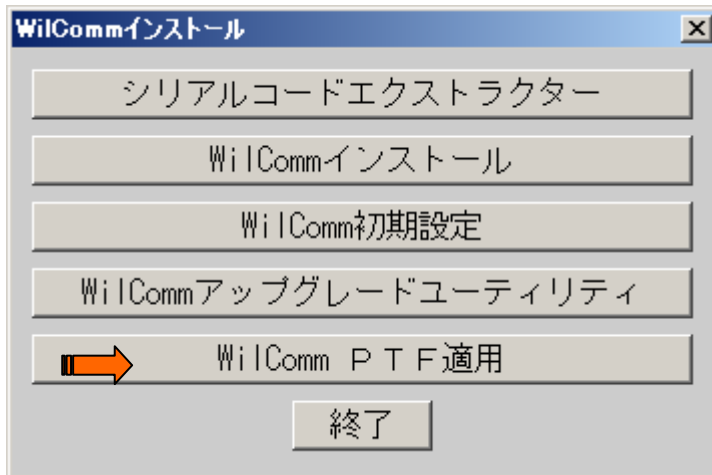
[OK]ボタンを押します。

[Exit]ボタンを押して、WilCommアップグレード・ユーティリティを終了します。

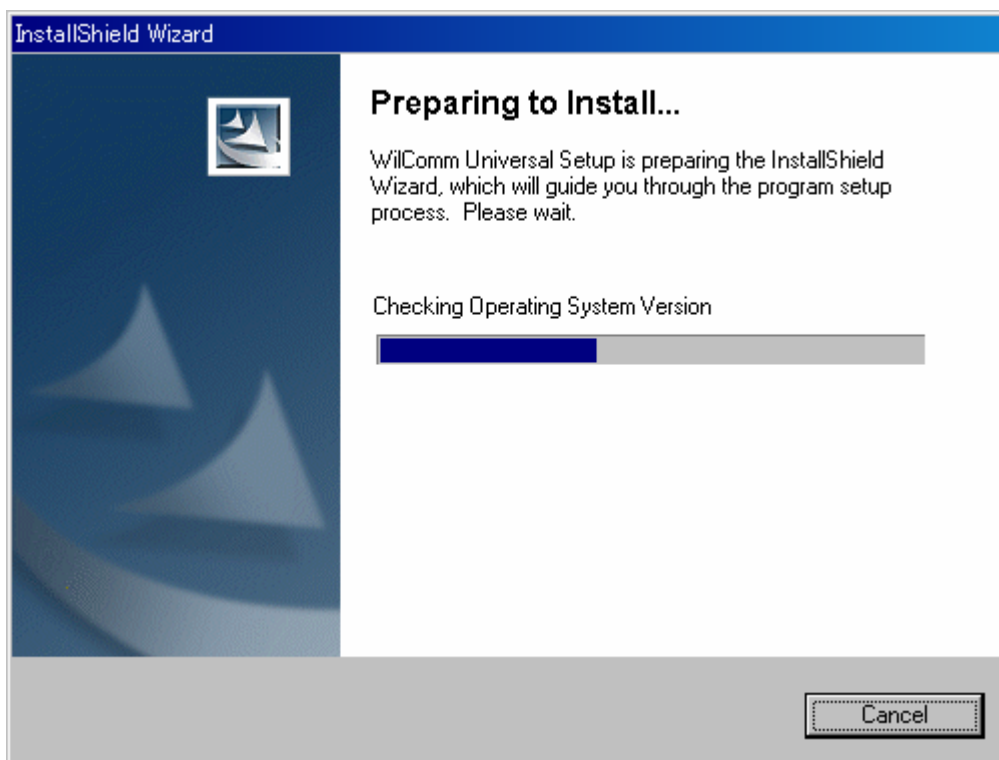
設定情報は復元されました。

Step9. WilComm PTF適用

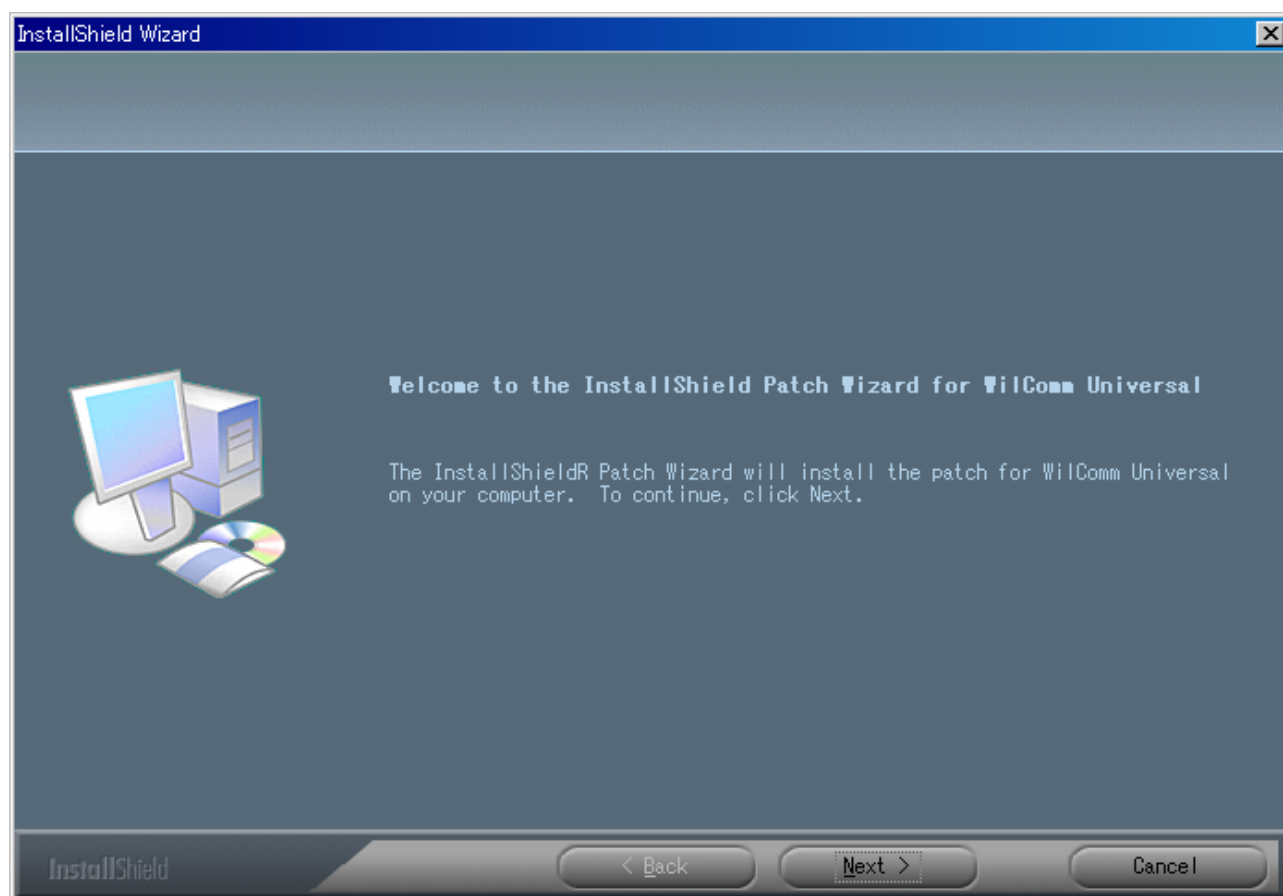
ラベル「WilComm Server Ver.7.15 SP2」の CD を PC サーバーの CD-ROM ドライブにセットして下さい。
自動的に下記のようなメニューが表示されます。
自動的に表示されない場合は、CD のルートにある WILMENU.EXE を実行して下さい。



[WilCommPTF 適用]を実行します。



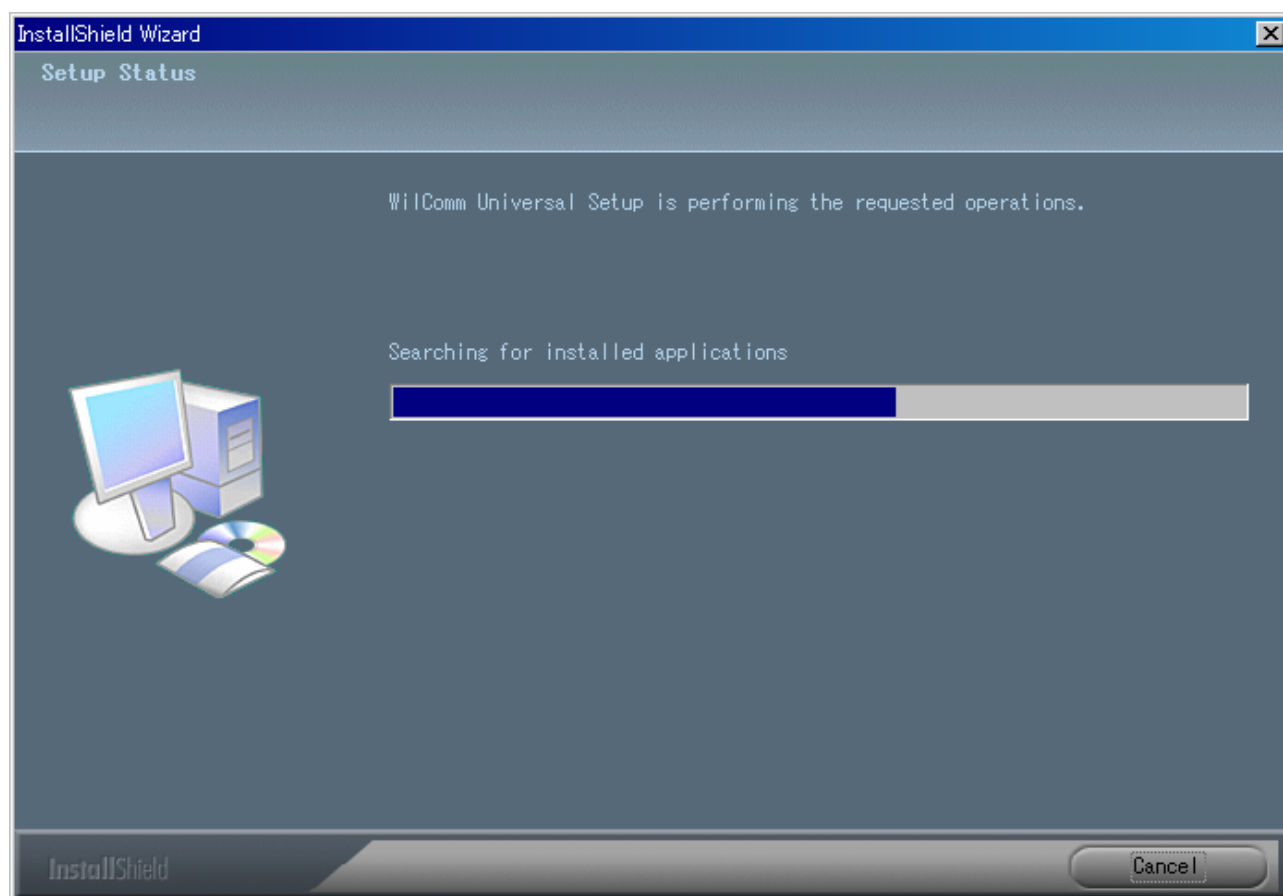
表示されない場合は、CD-ROMの中にある **Update.exe** を実行して下さい。

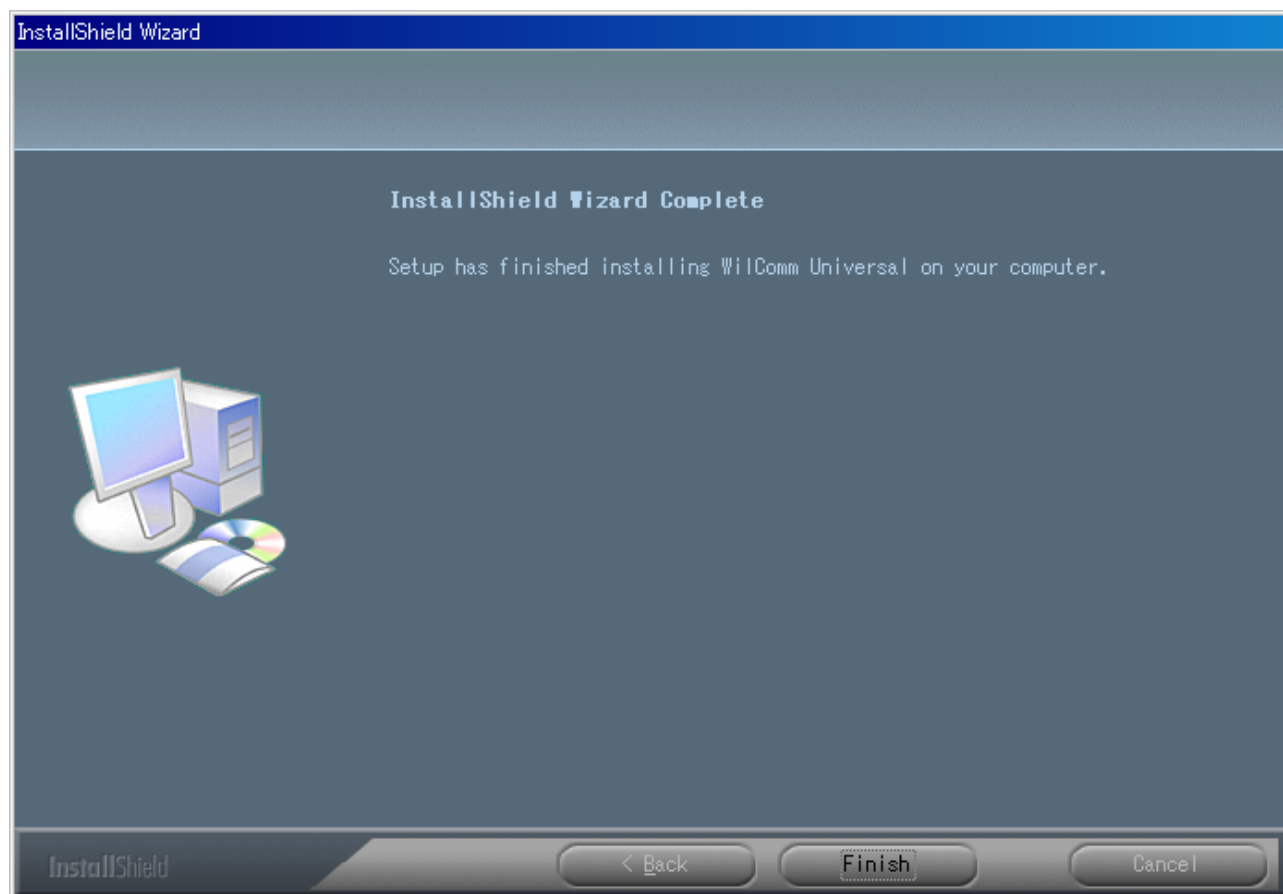


以上の画面が表示されましたら「Next」ボタンを押します。

Upgrade to Ver.7.15 SP2

インストールが開始されます。





以上のアップデートの終了画面が表示されたら、「Finish」ボタンを押します。

(注) 「Finish」ボタンを押した後、P32 から以上までの流れが“ 自動的 ”にもう一度実行されます。同要領で「Next」ボタンを押して処理してください。

WilComm PC の P T F 適用作業は終了です。

***ウィルフォームス (Forms Designer) を導入する場合は、ラベル「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」を CD-ROM から取り出してください。ラベル「Forms Designer Ver.3.5.xx.xx」の CD を PC の CD-ROM ドライブにセットし、マニュアル「導入手順書 WILForms Ver.3.5」INS011 に従ってインストールしてください。**

C D - R O M を取り出して PC サーバーを再起動して下さい。

Step1 0. MESSAGEmanager のインストール

Wilcomm の ファックス機能を使用しない場合は必要ありません

ファックス機能を使用する場合は、インストールCD「MESSAGEmanager FAX Software Ver.6.3」或いは「MESSAGEmanager FAX Software Ver.7.0」CDドライブにセットしてください。インストール画面が表示されますので、「導入手順書 MESSAGEmanager Ver.6.3」INS006 の20ページ目以降或いは「導入手順書 MESSAGEmanager Ver.7.0」INS012 の24ページ目以降を参照して、ファックスソフトウェアのインストールを行って下さい。

(注意) MESSAGEmanager は、ファックスカードの制御ソフトウェアです。ウィルコムとはバージョン・ナンバーが異なります。ファックスカードのドライバは削除していませんので、インストールする必要はありません。

WindowsNT を使用している場合、MESSAGEmanager Ver.6.3/Ver.7.0 は使用できません。WindowsNT の場合は、MESSAGEmanager Ver.6.2 を使用します。お手元に MESSAGEmanager Ver.6.2 の CD が届いていることを確認してください。インストールに際しては、マニュアル「導入手順書 MESSAGEmanager Ver.6.2」INS005 を参照してください。

Step1 1. XEROX DocuWorks のインストール

WilFile (ファイル保管機能) を使用しない場合は必要ありません。

WilFile で、DocuWorks 形式の保管機能を使用しない場合も必要ありません。

(注意)Wilcomm Ver.7.15 SP2 からの WilFile は、XEROX DocuWorks 形式のファイル保管をサポートしています。DocuWorks 形式の保管機能をお使いになる場合は、Wilcomm の PC Server 側に DocuWorks をインストールしてください。DistributionWizard のセクションにおける「サービス定義」の「全般」タブで「印刷形式」=「XDW ? Xerox Docuworks」が選択可能になっています。

以上で、Wilcomm Ver.7.15 SP2 へのアップグレード作業は終了です。

3. 補足～WilComm_Start.bat について

WilComm_Start.bat を Windows スタートアップ・フォルダにセットし、Windows の起動とともにウィルコムを自動起動されている場合、以下の手順で最新バッチファイルを使用するようにしてください。

現在、Windows スタートアップ・フォルダにセットされているバッチファイル「WilComm_Start.bat」は削除してください。

Wilcomm アップグレード CD 「Wilcomm 400 Ver.7.15 SP2」にあります以下の2つのファイルをウィルコムのフォルダにコピーしてください。

①CDROM Drive\WilComm_JP\Utilities\WilComm_Start.bat

②CDROM Drive\WilComm_JP\Utilities\HOLD!.exe

コピー先：C:\Program Files\Wilkinson

WilComm_Start.bat を右クリックでプロパティを表示し、属性「読み取り専用」のチェックをはずしてください。更に編集するために、右クリックで「編集」を選択してください。

WilComm_Start.bat の内容は次頁の通りです。

<pre>@Echo ***** Drive Mapping ***** @HOLD! 2 Net use I: \\192.168.0.1\si wilplex /user:wilplex /persistent:no @HOLD! 5</pre>	ネットワークドライブ再接続
<pre>@Echo ***** Start Wilkinson Server ***** @HOLD! 2 C: CD c:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\Server start WilComm cd .. @HOLD! 5</pre>	ウィルコム・サーバー起動
<pre>@Echo ***** Start Wilkinson Fax ***** @HOLD! 2 C: CD C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\FaxMM start WilFaxMM cd .. @HOLD! 5</pre>	ウィルファックス起動
<pre>@Echo ***** Start Wilkinson Mail ***** @HOLD! 2 C: CD C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\Mail start WilMail cd .. @HOLD! 5</pre>	ウィルメール起動
<pre>@Echo ***** Start Wilkinson Print ***** @HOLD! 2 C: CD C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\Print start WilPrint cd .. @HOLD! 5</pre>	ウィルプリント起動
<pre>@Echo ***** Start Wilkinson File ***** @HOLD! 2 C: CD C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\File start WilFile cd .. @HOLD! 5</pre>	ウィルファイル起動

ネットワークドライブの再接続 / Wilcomm Server / WilPrint / WilFax / WilMail / WilFile の順に起動するようになっていきます。ご購入いただきましたライセンス及び自動化したいモジュールをご検討いただいた上で、**不要な行は削除**してください。**緑枠部**は削除しないでください。また、お客様の環境に応じてドライブ名等のパスを修正する必要があります。

赤枠部を使用される場合

Net use I: \\192.168.0.1\si wilplex /user:wilplex /persistent:no
ドライブレターはお客様の環境で書き換えてください。

IP アドレス部は、お客様の iSeries のアドレスに修正してください。

***既にネットワークドライブを PC リブートの都度、接続を復元するように設定されている場合は、一旦マイコンピュータにてネットワークドライブを切断してください。以降は当バッチファイルで自動的に接続されることになります。**

修正が終了しましたら、保存してファイルを閉じてください。

WilComm_Start.bat のショートカットを Windows のスタートアップ・フォルダに作成してください。